

退職校長会釣りクラブ 千代田会釣り部通信 (No.220)

釣りクラブ委員長：町田 静隆
編集：鳥海 重年
2026. 7. 1 発行



釣りクラブ委員長挨拶

(委員長) 町田 静隆 (1頁)

第1回釣行・シロギス釣り会報告

(世話人会) 田中 正 (2頁)

第3回釣行・シロギス釣り会案内

(世話人会) 町田 静隆 (3頁)

第4回釣行・アジ釣り大会案内

(世話人会) 町田 静隆 (3頁)

千代田会のこと

(委員長) 町田 静隆 (4頁)

釣りクラブ委員長挨拶

委員長 町田 静隆

釣りクラブ委員長の町田です。本年も昨年に引き続き、よろしく願い申し上げます。なお、世話人の先生方は、(敬称略) 松澤 茂久、鳥海 重年、田中 正です。

さて、昨年、令和七年度の変更点として、参加人数の減少に対する対策として、一月の世話人会において参加希望者が三人以上そろわないと思われる釣り会を中止し、最低四〜五人以上そろう釣り会のみを実施することとで年間計画を大きく変更いたしました。それによって、ほぼ毎月実施するという今までの会の方針を変更することとなりますが、これも会員の高齢化による減少対策としてやむなしということに決しました。詳しくは、別稿の年間予定表にゆづりますが、何卒よろしくご了承お願い申し上げます。なお、昨年、台風の影響で中止した十月の第五十回アジ釣り大会は、節目の大会となりますので、ぜひ多くの会員のご参加をお願いいたします。

今年二回目となるアジ釣り会は、人数が集まらず中止となってしまいましたが、今年度も、良い釣り会となりますように、精一杯務めさせていただきますので、会員の皆様のご指導、ご鞭撻をよろしく願いたします。

(世話人会) 田中 正

令和八年度、千代田会釣りクラブのスタートはシロギス釣りでした。四月十七日金、釣宿は横浜・新山下の広島屋です。今回の参加者は、蔵本・鳥海・田中の三名で少し寂しい釣り会となりました。釣り座は右舷側を千代田会三名がゆったりと占めることができました。

当日は薄曇りで雨の心配はなさそうでしたが、風の強さが心配でした。以前、強風のため中止になったことがありました。釣宿で出船を確認し乗船しましたが、やはり風と波が一日を通して最後まで釣りを難しくしていました。

今回の釣り場は東京湾中ノ瀬で、出航して三、四十分ほど走りましたが、途中何度か波をかぶり船外にいたことを後悔しました。

船長の「どうぞ」の合図で釣りを始めました。釣り場の状況は、風と波だけでなく、潮の流れの速さが加わりました。魚の活性は良く、ぼつりぼつりと最後まであたりが続きました。

広島屋で配布された仕掛けは胴付き一本針仕掛けでした。予備の仕掛けとして、あたりがない場合に備えて、遠くへ投げて広く探れる天秤仕掛けも用意しました。しかし一日を通して、ポツリポツリとアタリが続いたため、胴付き仕掛けだけで釣ることにしました。手前祭りの心配はありませんが、おもりを着底させるため、もう少し上の棚まで探れる胴付き二本針仕掛けを用意してくればよかったと思います。

今回の釣り会では、去年の反省から変えたことがあります。昨年の釣果は十四匹と残念な結果でした。最初のブルブルとしたあたりに大きく合わせましたが、なかなか針掛かりをしませんでした。キス釣りでは餌が長く、吸い込みが浅い場合、強い合わせで放してしまうのではないかと考えられました。また、強い合わせにより、仕掛けが大きい合わせにより、シロギスが追いついてしまい、シロギスが追いついてしまい、釣果が伸びなかったと思われま

す。そこで今年は、ブルブルという最初のあたりをじっと我慢して、次の強いあたりを待って合わせるようにしました。しかし針掛かりしやすくなった半面、針を深く飲み込まれてしまい、



外すのに毎回苦労することになりました。

昨年の釣り会では、天秤仕掛けによる釣りの経験から、シロギスは海底にいて、海底に横たわる餌をつついて食べていると思っていました。そのためエサが魚に注目されるように仕掛けを少し上下させ、餌をアピールする必要があると考えていました。しかし今回シロギス釣りについて調べたところ、シロギスは海底から二十〜三十センチの棚を泳いでいることを知りました。胴付き仕掛けの特徴から、おもりが着底したら糸ふけを取るだけで、潮の流れが強いのでエサは海底を離れ横にたなびいてシロギスの棚にあっていると考えました。そのまま動かさずあたりを待つことが良いと思いました。仕掛けをゆすりアピールする行為は、魚に警戒心を与えてしまうと思いました。

船長のアナウンスで、重りを海底につけ糸をたるませ気味にするようにというアドバイスがありました。エサが長いので針掛かりしづらく、動きを止めてシロギスが十分に飲み込む機会を与えるために待ちます。その時、糸を張りすぎるとエサを喰えた時の違和感からエサを吐き出してしまふ。少し緩めないと釣れないという船長のアドバイスはそのことを言っていたと思いました。

釣果は、小さいピンギスも含め、比較的良型を三六匹釣ることができました。良い結果が出せたと思います。しかし左舷側では数十匹以上の釣果と聞きまだ奥が深いと感じました。左舷側の有利さは、潮の流れの向きから、仕掛けを緩めてもお祭りの心配がなく、広く探れる有利さがあると思われま

す。また今回は、仕掛けにアカクラゲが何度も絡みつきました。アカクラゲが着くと釣れなくなりま

す。それを取るのに手を使うと痒みが襲います。その対策として歯ブラシを二本持参したがもっと必要でした。

ドラマは鳥海先生の「重い」という声が始まりました。何と大きなホウボウでした。高級魚で角上魚類でも見ることでできない大きさで、何千円もすると思われ、思わずタモを手に取りました。網に魚が収まった時にはホッとした。きつとおいしい刺身になったことでしょう。

シロギスは刺身・焼き魚・天ぷらなどいろいろな料理法があります。我が家では刺身で食べました。但し皮ががしにくいため細く切って糸づくりすると皮が気にならずに食べることができま



令和八年度・第三回釣行 「シロギス釣り会」案内

(世話人会) 町田 静隆

令和八年度の三回目の釣りはシロギスです。身は小さいけれど味は良く、刺身・焼き魚・天ぷら・一夜干し等どれもおいしいのです。釣りやすい魚ですから、日並みのよい日は百匹(一束)釣りも可能です。なお、今年度も横浜・新山下の「広島屋」で行います。

記

一、期 日 九月十八日(金) 小雨決行
二、船 宿 横浜・新山下「広島屋」

みなとみらい線 元町・中華街駅 元町口下車(徒歩五分)
横浜市中区新山下一三ー六

電話 045・622・8615

090・8874・4624

三、集 合 七時 船宿

四、参加費 一、〇〇〇円(乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み)
五、釣 具 竿(負荷一〇〜二〇号)リール(小型) 錘(一〇〜二〇号)

六、携行品 クーラー。昼食。飲み物。雨具。帽子。

七、釣り方

・最近はお付き一本針の仕掛けで、船下を釣るのが主流である。海底から三センチくらい上までをゆっくり探る。錘で海底をたたき、砂を巻き上げて誘う。道糸は、いつもたるまさないで張っておく。

・スピニングリールの天秤使用の二本バリ仕掛けは、アンダースローで投げ、ゆっくり引き寄せながらアタリを待つ。アタリがあったら軽く合わせ、追い食いを待つ。(エサは、イソメを三センチくらいに切って使う)

※申し込み

同封のハガキで申し込んでください。

令和八年度・第四回釣行 第五十回「アジ釣り大会」案内

(世話人会) 町田 静隆

今年も千代田会恒例のアジ釣り大会を開催します。昨年、台風で中止となったため、今回も五十回の記念大会です。船宿は昨年と同じ金沢漁港の「黒一丸(くろかずまる)」です。車の方は金沢漁港(金沢区海の公園)に集合、電車の方は、金沢八景駅を出て、荒川屋方面に向かう途中の元「ローソン」の前に7時20分集合で、若船長が車で迎えに来てくれます。

記

一、期 日 十月十六日(金) 小雨決行

二、船 宿 金沢漁港「黒一丸」 京急金沢八景駅下車、車で十分(送

迎有り) 電話 045・781・0691

駐車料 一日300円?

三、集 合 7時三十分 電車の方は、ローソン前7時20分

四、参加費 一、〇〇〇円(乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み)

五、携行品 クーラー。昼食。飲み物。雨具。帽子。タオル。

六、釣 具 竿(「T用。貸し竿有り」。中・小型リール。竿掛け。イ

ワシミンチ用「コマセ籠(三十号) 中型片天秤。ゴムクッション(三十センチ)。

七、釣り方 青イソメの餌を付け、「コマセかご」にミンチを入れたら投入。

錘が底に着いたら、糸ふけをとり、二m巻き上げて「コマセ」を巻く。さらに二m巻き上げてアタリを待つ。口が弱いのでゆっくり丁寧に巻き上げ、取り込む。

※申し込み

同封のハガキに切手を貼り、申し込んでください。

千代田会について町田委員長から寄稿していただきました。併せて平成二十三年五月の釣り部通信147号に掲載されたコマセシヤクリ釣りのテクニクを再掲・ご紹介します。

千代田会について

町田 静隆

千代田会とは、東京都退職校長会生涯学習部所属の釣りクラブの通称である。退職校長会の歴史を振り返ってみると、釣りクラブの成立は、昭和四十九年十月のことであり、初めて釣り会を行ったのは、昭和五十二年のことであった。

当時は年二回ほどの釣行であったようだが、年ごとに回数を増し、平成二十年には年六回の定期の釣り会（四月、五月、七月、九月、十一月、三月のほか、毎年十月には、アジ釣り大会と称して、釣果を競いあい、上位三名には豪華なタテを送る会も実施していた。それとは別に伊豆の下田での一泊特別釣り会）六月、十二月、さらに新入会員歓迎会として七月に大月の管理釣り場で行っているニジマス釣り会、そして、翌年一月に初めて行った河口湖でのワカサギ釣り会と、寒い二月を除く年十一回もの釣行を行っていた。

対象魚だが、シロギス、アジ、イサキ、タチウオ、ワラサ、イシモチなど、旬の比較的よく釣れるものを狙っており、まず釣果ゼロこれを俗にボウズというとはなかった。日並みが良ければ出航してわずか二時間くらいでクーラー満杯となり、船長に早い沖上がりをお願いすることもあった程である。

平成十九年十二月の下田でのワラサ釣り会では、本命のワラサこそ回ってこなかったものの、四十センチオーバーのカンパチをはじめ、マダイやマハタ、メジマゴロなどの希少な高級魚をゲットするなどおおいに盛り上がった釣り会であった。

平成二十年の会員数は十八名。最高齢の八十四歳の方から、実は私から下から二番目の六十八歳というメンバーである。当時も、やはり高齢化が問題であった。

解説 コマセシヤクリ釣（七五一定のライトウイ）のテクニク

①時計の短針で例えると八時から十時位まで誘い上げ、一時ヒタツと止め二秒ポーズ（ストップ）を入れる。ここでアタリが出やすい。

②シヤクリ上げた分の道糸を巻き取りながら八時の位置に戻し、すぐに次のシヤクリに入る。

③同様の操作で表層まで探る。

（七五一定のライトウイ釣りはビシとテンピンを船宿で無料で用意します）

ビシはオモリ内蔵タイプが一般的で、六〇～八〇号（ライトウイ）の短針を付ける（ウイリーはエサ付け不要）。海底までコマセビシを落とし、糸フケを取る。ここから、イラストのようにリズム良くシヤクリの間隔は五〇cm刻みで行くと魚との出会いが多くなります。

浅層（水深10m以内）では、ワカシ、ソーダガツオ、カツオ、メジマゴロ、シイラなど

中層（水深10～20m）では、イサキ、イシダイ、ハナダイ、イナダ、マアジ、サバなど

底層（水深20m以下）では、マダイ、クロダイ、アマガイ、ハタ類など

ハナダイ ……シャープなシヤクリで、ポーズは1～2秒。
マアジ ……シャープなシヤクリで、ポーズは2～3秒。
イサキ ……ソフトなシヤクリで、ポーズは4～6秒。
マダイ ……イサキと同様で、時にもう少し長く待つことも効果的。
イシダイ ……短くシャープにシヤクリ、ポーズは0.5～1秒。
イナダ ……シャープなシヤクリで、ポーズは1～1.5秒。

基本のシヤクリフォームを覚えよう

① ② ③

世経会

退職校長会釣りクラブ

千代田会釣り部通信

(No.219)

釣りクラブ委員長：町田 静隆

編集：鳥海 重年

2026. 4. 1 発行



令和8年度釣りクラブ行事計画 (クラブ委員長) 町田静隆 (1頁)

令和7年度釣りクラブ研究・懇談会報告 (世話人会) 鳥海重年 (2頁)

令和7年度釣りクラブ会計報告 (世話人会) 田中 正 (2頁)

第4回「イシモチ釣り会」報告 (世話人会) 鳥海重年 (3頁)

令和8年度第1回「シロギス釣り会」案内 (世話人会) 町田静隆 (4頁)

令和8年度第2回「アジ釣り会」案内 (世話人会) 町田静隆 (4頁)

令和八年度 釣りクラブ行事計画

釣りクラブ委員長 町田 静隆

令和八年二月十四日に開催した釣りクラブ研究・懇談会において令和七年度に実施した釣り会を振り返り、意見交換をしました。釣り会参加者が少なくなっていますが、それでもできれば仕立てが可能な釣り会、または片舷だけでも仕立て同様の釣り会が可能な観点から検討した結果、九月のイナダ釣り会は、予算上の関係で難しいところがあり、また令和七年度のイナダ釣りは釣果が乏しい釣り会だったこともあって、シロギスに変更することにしました。

左記の通りに行事を計画しましたのでお知らせいたします。皆様の参加をお待ちしています。

四月 一日 (水) 会報第二一九号発行

四月十七日 (金) 第一回「シロギス釣り会」(新山下・広島屋)

五月十五日 (金) 第二回「アジ釣り会」(金沢漁港・黒一丸)

七月 一日 (水) 会報第二二〇号発行

九月 五日 (土) 第一回世話人会

九月十八日 (金) 第三回「シロギス釣り会」(新山下・広島屋)

十月十六日 (金) 第五十回「アジ釣り大会」(金沢漁港・黒一丸)

十二月 一日 (火) 会報第二二一号発行

一月 九日 (土) 第二回世話人会

二月十三日 (土) 釣り部 研究・懇談会

三月十二日 (金) 第四回「イシモチ釣り会」(金沢漁港・黒一丸)

令和七年度 釣りクラブ研究・懇談会

(世話人会) 鳥海 重年

令和八年二月十四日(土)午後一時三十分から武蔵野市の西久保コミューンセンターで釣りクラブの研究を兼ねた懇談会を開催しました。参加者は四人。日頃の釣り会では、話をする間もなく解散となってしまうので今年度の釣り会の状況を振り返りながら、次年度の釣り会について、会員の皆さんの意見や要望を元に計画を具体化しました。一頁目の委員長報告にある通りです。

特に参加人数が非常に少ない釣行が続いていますので、仕立て船との料金の兼ね合いで、利用しやすい釣宿で設定している釣行を優先的に選択しました。

また、話題になった項目は釣り棚のとらえ方について、アジやアマダイを例に意見を出し合いました。また右舷や左舷の場所とりと釣果との関係、潮の流れと釣果との関係などについても意見を交換しました。

最近、鮮魚店等でアニサキスへの注意事項を記載した掲示をよく見かけますが、アニサキスへの対応も話題になり、防御する方法としては、冷凍すれば死滅することや細かく包丁を入れれば大丈夫という指摘がありました。また、調理法として干物の作り方も話題になり、道具は百均でも手に入るの調理しやすい方法の一つのようです。また、調理した後の残滓は腐敗が進むと悪臭が問題になります。が、廃棄するまで冷凍しておく方法や土の中に埋める方法が効果的なようです。



令和7年度

会 計 報 告

(世話人会)

《収入の部》

《支出の部》

摘 要	収入金額	支出金額	
前年度繰越金	37,839		
年会費	20,000		8名 x 2,500
本部からの活動補助金	5,860		5,500+360
研究懇談会参加費	10,000		2,500×4
受取利子	56		20+36
収入計	73,755		
会報編集・印刷発送活動・代表渉外 費		23,000	代表渉外、会報編集、会報発送
釣り大会		0	入賞盾、大物賞、参加賞
研究懇談会		3,000	
世話人会		0	
支出計		26,000	

差引残高(次年度へ繰越)

収入金額－支出金額

47,755 円

令和8年3月25日

上記の通り報告いたします。

釣りクラブ委員長 町田 静隆 印

会計担当 田中 正 印

第四回「イシモチ釣り会」報告

(世話人会) 鳥海 重年

三月十八日(金)、金沢漁港の黒一丸で恒例のイシモチ釣り会。朝七時三十分に集合。以前から天候が心配でしたが、当日は朝の内は曇りがちで気温が低かったものの日中は快晴、気温も上がり、ほぼ無風状態で絶好の釣り日和となりました。

予定通り七時四十分頃に出港。参加者は四人。金沢漁港から横浜港方面に三十分近く船を走らせて横浜ベイブリッジを数百メートル先に見ながら、大黒ふ頭近くが今日の釣場。何回か若干の位置替えをしながらも五時間ほどの付近での釣行となった。

銅付き二本針仕掛けで、イソメを垂らして船の真下を狙う。イシモチは当たりがビビッとあって釣り人には何とも言い難い快感を与えてくれる魚だ。ただ、餌を吸ったり吐いたりする習性があるようでじっくり待つのが重要なポイントだという。底をとりながら喰いを待つのだが、釣り始めたころはなかなか喰いがなく、船長からは誘いをかけながら待つように指示があった。上下に誘いをかけはじめると感触が良くなって一匹、二匹とビビッ、ビビッという感触が続き、これだ！。

二本針での底狙いなので下の方の針に多く喰いが入ることを想定していたが実際には上の針にかかることが多かった。黒一丸のスタッフに聞いたところ、必ずしも底だけではなく、活性が高い時間帯は上の方にかかることも多くあるようだ。

大小入り混じりながら程よいペースで釣れるので釣果も上がり、大満足の釣行になりました。船首で釣っていた黒一丸のスタッフは流石に釣りのプロで五十匹程釣りあげたようです。後で聞いた話ですが、船の下だけではなく投げ釣りで広くイシモチを誘っていたようです。黒一丸のスタッフにはいつも学ぶことが多くあります。

午後一時納竿。釣果は四人ともそれぞれ十五匹〜二十五匹程度。外道はアジ三匹、クロダイ一匹と少なめでした。

黒一丸のスタッフが釣ったイシモチを分けていただいて大漁の気分で帰宅。帰宅後は疲れながらも二時間かけて調理、これもまた嬉しい時間…。夕食には刺し身、焼き魚、煮魚と豪華なメニュー。バター焼きなども美味しいようです。腹開きにした干物も美味しかった。釣行日の夜は風の具合が程よく、期待したような干物になりました。下処理済のイシモチと共に冷凍保存、しばらく楽しめそうです。

黒一丸の皆さん、お世話になりました。感謝！

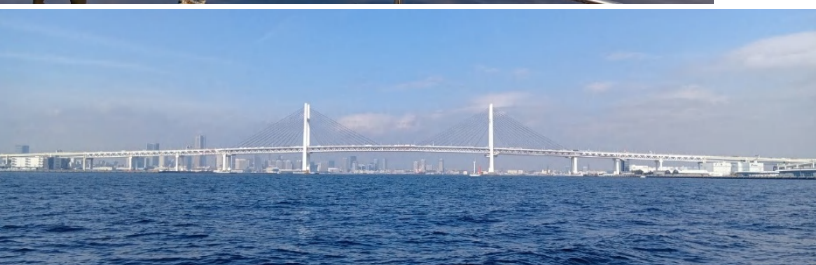
釣り会参加の皆さん
お疲れさまでした！



釣行日、朝の金沢漁港



釣船から横浜ベイ
ブリッジを眺望



令和八年度 第一回「シロギス釣りの会」案内

(世話人会) 町田 静隆

令和八年度、最初の釣りの会は左記の通り、シロギスです。身は小さいけれども味は良く、刺身・焼き魚・天ぷら・一夜干し等どれもおいしいのです。釣りやすい魚ですから、日並みのよい日は百匹(一束)釣りの可能性があります。
なお、今年度も横浜・新山下の「広島屋」で行います。

記

- 一、期 日 四月十七日(金) 小雨決行
- 二、船 宿 横浜・新山下「広島屋」 みなとみらい線 元町・中華街駅
元町口下車(徒歩五分) 横浜市中区新山下一三二六
電話 045・622・8615
090・8874・4624

- 三、集 合 七時 船宿
- 四、参加費 一二、〇〇〇円(乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み)
- 五、釣 具 竿(負荷一〇～二〇号) リール(小型) 錘(一〇～二〇号)
- 六、携行品 クーラー。昼食。飲み物。雨具。帽子。
- 七、釣り方 ・最近は胴付き一本針の仕掛けで、船下を釣るのが主流である。
海底から三十センチくらい上までをゆっくり探る。錘で海底をたたき、砂を巻き上げて誘う。道糸は、いつもたるまさないで張っておく。

・スピニングリールの天秤使用の二本バリ仕掛けは、アンダースローで投げ、ゆっくり引き寄せながらアタリを待つ。アタリがあったら軽く合わせ、追い食いを待つ。

(エサは、イソメを三センチくらいに切って使う)

※申し込み 同封のハガキで申し込んでください。

令和八年度 第二回「アジ釣りの会」案内

(世話人会) 町田 静隆

令和八年度、第二回「アジ釣りの会」は、金沢漁港の「黒一丸(くろかずまる)」で実施したいと思います。車の方は金沢漁港(金沢区海の公園)に集合、電車の方は、金沢八景駅を出て、荒川屋方面に向かう途中の元「ローソン」跡地の前に七時二十分集合で、船長が車で迎えに来てくれます。

記

- 一、期 日 五月十五日(金) 小雨決行
- 二、船 宿 金沢漁港「黒一丸」
京急金沢八景駅下車、車で十分(送迎有り)
電話 045・781・0691
駐車場 一日 三〇〇円

- 三、集 合 七時三十分 電車の方は、元ローソン前七時二十分
- 四、参加費 一二、〇〇〇円(乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み)
- 五、携行品 クーラー。昼食。飲み物。雨具。帽子。タオル。
- 六、釣 具 竿(「用。貸し竿有り)。中・小型リール。竿掛け。イワシミンチ用コマセ籠(三十号) 中型片天秤。ゴムクッション(三十センチ)。
- 七、釣り方

イカタンや青イソメの餌を付け、コマセかごにミンチを入れたら投入。錘が底に着いたら、糸ふけをとり、二m巻き上げてコマセを巻く。さらに一m巻き上げてアタリを待つ。口が弱いのでゆっくり丁寧に巻き上げ、取り込む。

※申し込み 同封のハガキに切手を貼り、申し込んでください。

退職校長会釣りクラブ

千代田会釣り部通信 (No.218)

釣りクラブ委員長：町田 静隆
編集：鳥海 重年
2025. 12. 1 発行



「第3回イナダ釣り会」報告 (世話人会) 鳥海重年 (1頁)

「第50回アジ釣り大会」中止 (世話人会) 町田静隆 (1頁)

令和七年度「研究・懇談会」案内 (世話人会) 町田静隆 (2頁)

第四回「イシモチ釣り会」のお知らせ (世話人会) 町田静隆 (2頁)

「第3回イナダ釣り会」報告

世話人会・鳥海重年

令和七年九月十二日(金)、久しぶりの釣行は「イナダ釣り」。今年の夏も昼夜を問わず、連日の猛烈続きで、炎天下での釣行になるのではないかと心配でしたが、たまたま雨は降らないまでも曇天模様でしのぎやすい天候になった。

朝7時30分に腰越漁港に集合し、仕立てをお願いしている秋田屋さんの船で8時頃に出船。当日の参加人数は5人。十五分程度で最初の釣場に到着。江の島がすぐ近くに見える。かつてこの場所で行き来しやすかったイナダがつかまらず、アビスボックスに入りきらないために、ビニール袋に入れ込んだ時もあった。波も穏やかで大漁を感じさせる条件ではあったが…。

一時間たっても、二時間たってもなかなかイナダが上がってこない。コマセはどんどん減っていくがオキアミは残ったまま。ただ、この日は小イワシがかかってくるものが多く、それを指示棚に落としてやっと一匹釣ることができた。外道のソウダカツオがよく釣れた。アジも釣れた。イナダはソウダカツオの下層を回遊しているので少し深めに落とし込んだりもしたが、まったく効果なし。釣果は外道を含めて十五尾程度ではあったがイナダは一尾だけ。江の島を近くに見ながら五か所程度釣り場を変えたが、状況は変わらず。

皆さん、酷暑の疲れではなく、釣れないことへの落胆が大きかった。こういうこともあるなと自分に言い聞かせて、納竿。一時過ぎには帰港した。それでも佐藤さん親子の釣果は驚くものがあった。こういう時は技術がものを言うようだ。六十七才のワラサ、大型のオオモンハタやアカハタ、加えてカンパチ、アイゴ、その他多くの魚で大きなアビスボックスがいっぱいになっている。小イワシを餌に落とし込みで釣りあげたと話していた。お見事。イナダの回遊は薄いようだったが、海底付近には大物が住み着いていたようだ。次回に向けて参考になりました。

第五十回「アジ釣り大会」中止について

世話人会・町田静隆

十月十日(金)に開催予定だった「第五十回アジ釣り大会」は台風23号が関東の沖合を通過した翌日であったため、天候は良かったのですが、台風之余波による高波で出船できず中止にいたしました。

令和七年度「研究・懇談会」案内

世話人会・町田静隆

会場は、武蔵野市の西久保コミュニティセンター(三鷹駅下車)です。
午後1時に三鷹駅北口の階段を降りたところで待ち合わせします。

内容は、

- ・今年の釣り会の状況報告
- ・会員の皆様からの一言
- ・来年度の釣り会日程
- ・来年度の釣り会への要望等

について話し合いを行う予定です。日頃の釣り会では、話をする間もなく解散となってしまうので、会員の皆様のさまざまなご意見を伺いたいと思っております。

記

- 一、日時 令和七年二月十四日(土) 午後1時30分～4時
- 二、会場 武蔵野市西久保コミュニティセンター
- 三、参加費 二、五〇〇円(弁当、飲み物、お菓子代等)
- *当日、会場で徴収させていただきます。

*申し込みは同封のハガキで申し込みください。

第四回「イシモチ釣り会」のお知らせ

世話人会・町田静隆

「イシモチ釣り会」は、金沢漁港の「黒一丸(くろかずまる)」で行いたいと思います。車の方は金沢漁港(金沢区海の公園)に集合、電車の方は、金沢八景駅を出て、荒川屋方面に向かう途中の元「ローソン」の前に7時20分集合で、若船長が車で迎えに来てくれます。

記

- 一、期 日 令和八年三月十八日(水) 小雨決行
- 二、船 宿 金沢漁港「黒一丸」 京急金沢八景駅下車、車で十分(送迎あり) 電話045・781・0691
- 駐車料 一日(300円)
- 三、集 合 7時30分 電車の方は、元ローソン前7時20分
- 四、参加費 二、〇〇〇円(乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み)
- 五、釣 具 竿(負荷10～20号)リール(小型) 錘(20～30号)
- 六、携行品 クーラー。昼食。飲み物。雨具。帽子。
- 七、釣り方 錘が着底したら、糸ふけを取り、竿を水平に保つ。数十秒ごとに錘を三〇センチ位上げ、また下げて誘う。アタリは明確だが、すぐに上げず追い食いを待つ。

※申し込み 同封のハガキで申し込んでください。

退職校長会釣りクラブ

千代田会釣り部通信 (No.217)

クラブ長：町田静隆 編集：鳥海重年

2025. 7. 1 発行



令和七年度釣り部活動と「イシモチ釣り会」中止について

(クラブ長) 町田静隆 (1 頁)

「第1回シロギス釣り会」報告 (世話人会) 田中 正 (2～3 頁)

「第2回アジ釣り会」報告 (世話人会) 町田静隆 (4～5 頁)

令和6年度会計報告 (世話人会) 田中 正 (5 頁)

「第3回イナダ釣り会」案内 (世話人会) 町田静隆 (6 頁)

「第50回アジ釣り大会」案内 (世話人会) 町田静隆 (6 頁)

令和七年度の釣り部活動について

クラブ長・町田静隆

令和七年度の第一回目の通信(二一七号)をお届けします。この数年、年度当初に計画した釣行への参加者が少なくなってきた中止にせざるを得ないケースが増えてきましたので、昨年度の通信二一六号)でお知らせしたように、年間の釣行を見直し、比較的多くの参加が期待できる5回の釣行のみ継続することにしました。時期的には高温が続くと予想される夏場には釣行を避け、比較的体調管理しやすい時期に実施するようにします。会員の皆さんには日々の体調管理にご配慮いただき、できるだけ多くの釣行に参加していただきますようにお願いいたします。

釣行回数を少なくしたことに伴って、釣りクラブ通信も昨年までは年間5回発行してきましたが今年度からは年間3回の発行に変更いたします。

また今年度の会費につきましては第一回目と第二回目の釣行に参加していただいた会員の皆さんからは徴収させていただきました。ご協力に感謝いたします。最終ページに令和6年度の会計報告を掲載していますので、ご不明な点等ございましたら町田までお問合せいただきたく、よろしくお願いいたします。

「イシモチ釣り会」中止の説明とお詫び

クラブ長・町田静隆

三月十二日(水)に予定していた「イシモチ釣り会」は参加者が三名しか集まらなかったため、会の内規として船代が出ないことから釣行を中止いたしました。健康第一ですので、体調を整えていただいて、次回に参加者が増えることを期待しています。参加を希望されていた会員の皆様には大変申し訳なく、お詫びを申し上げます。

「第一回シロギス釣り会」報告

世話人会・田中正

令和七年度の第一回の釣りはシロギス釣りでした。四月十八日（金）、釣りは例年通り横浜・新山下の広島屋でした。今回の釣り会には、蔵本・町田・新井・久保庭・島海・田中の6名が参加しました。

但し集合がいつもより三〇分早く、乗合船であり千代田会以外のお客様さんに迷惑を掛けないか心配されました。しかし我々は、右舷側に6人座って釣りをすることができました。今後参加者が少なくなると、仕立て船の利用が難しくなることを考えると、乗合船の利用も考えざるを得ません。この場合、千代田会以外の乗船者に迷惑を掛けない工夫が必要です。

当日の天気は薄曇りで、強い日差しを避けて熱中症の心配なく釣りが



行えました。以前の釣り会で、強風のため中止になったことがありましたが、今回は風も弱く浪もおだやかでした。但し、潮の流れがやや強いというのではないかという気がしました。

出航して三〇分ほど走り、中ノ瀬に着き、船長の合図で釣りを始めました。広島屋で配布された仕掛けは胴付き仕掛けでした。この仕掛けは主に船の真下を中心に釣る釣りです。

今回の釣り会に向けての作戦で、なかなか釣れない場合に備え、遠くへ投げて広く探れる天秤仕掛けも用意しました。船が胴付き仕掛け用に流しているので効果があるかはわかりません。また、ポツリポツリとアタリがあったため、天秤仕掛けの出番はありませんでした。もう一つの工夫は、針をシロギスの喰いをよくするため配布された仕掛けより1号小さい7号で様子をみました。

ハリスを細くした事は手前まづりがしやすくなり、魚が暴れたとき糸絡みを解くのに時間が掛かり、船長の左舷側で釣れたというアナウンスで、少々焦りを感じました。

基本的な釣り方は、シロギスは習性として海底にいる魚なのでおもりが着底したら糸ふけを取り、少し上下させアピールをして、動きを止めてシロギスが食う機会を与えるために待ちます。糸が張っていると、喰ったとき違和感から、餌を吐き出してしまふので、少し緩めないと釣れないという船長のアドバイスがありました。しかし潮が



右舷側から左舷側に強く流れ、糸を張ってないと仕掛けが限りなく出てしまい、左舷側の人とおまつりの心配がありました。また、潮の流れが強く餌が海底から浮き上がり、シロギスが餌を食う機会が失われる可能性があります。そのため糸の針を緩め餌が海底に着くようにしなければなりません。

釣りはじめはなかなか反応がありませんでした。しばらくしてブルブルという強い引きがあり、一匹釣りあげることができました。あたりの感触がつかめましたが、その後私の竿はまったくアタリが無く少し焦りました。時々あたりがあっても、合わせると針がかりしないという状況が続きました。原因はアシ釣りの要領であたり強く合わせてしまうことです。アシ釣りで釣果を伸ばしてもシロギスには当てはまらないよう



です。アシ釣りでは餌が小さいので針掛が容易です。しかしキス釣りでは餌が長く吸い込みが浅い場合、強い合わせで放してしまうのではないかと考えられます。

また、強い合わせは、仕掛けが大きくずれてしまい、シロギスが追いつききれなかったようです。

下船時、船宿の人にあわせ方を聞いてみました。ブルブルとあたりがあっても合わせず、次に強い引きを待ってから合わせると良いそうです。

また今回は、仕掛けにアカクラゲが何度も絡みつきました。アカクラゲが着くと釣れなくなります。それを取るのに手を使うと痒みが襲います。その対策として歯ブラシを持参したことが役に立ちました。

今回千代田会の釣果は、一四〇二匹と渋い結果になりました。当日の船全体の釣果は五四〇二匹となっているので左舷側が有利になっていたようです。仕掛けを緩めてもお祭りの心配がなく、餌が海底につけられ、食う時違和感を与えないからだと思います。

シロギスは刺身・焼き魚・天ぷらなどいろいろな料理法があります。我が家では刺身で食べました。但し皮がはがしにくいため細く切って糸づくりにすると皮がついたままでも気にならずに食べられました。外道で釣れたイシモチは血に独特の臭みがあるので、釣ってすぐ血抜きをして持ち帰ったため、刺身でおいしく食べられました。



「第二回アジ釣り会」報告

世話人会・町田静隆

五月十六日(金)に、平成七年度第二回目の釣行・「アジ釣り会」を恒例の黒一丸(金沢漁港)で実施した。朝四時起床。五時二分発の始発電車で出発した。当日の朝は薄曇りでベタ凧の絶好の釣り日和の天気となった。

釣り宿に着くと、自動車組の3人は、すでに到着していて乗船名簿に記録後、すぐに乗船した。駅前からの車での送迎の時、若船長の話では、「ちょっと潮が速いので釣りにくい。」とのことで心配していた。

八時前に出船。赤灯前で八時過ぎから投入開始。三十分ぐらいはコマセを撒いては詰め替え作業の繰り返しだった

が、その後すぐにグンというアジ独特のアタリの感触があった。その後も、ポツリポツリとアタリがあり、会員の皆さんも、どんどんアジを釣り上げていった。十時半ぐらいに、場所を移動し、赤灯より十分くらい南に移った。ここでも前の場所より型は小さいもののぼつぽつとアタリがあり、午後一時に納竿の時には、そこそこ釣れていた。

ただ、庄巻の釣りは、ミヨシに陣取った若船長が、



どんどん入れ食いで、一荷釣りもあり、わが田中名人の倍以上のアジを釣り上げていた。

帰りに駅まで車で送ってもらった若船長に「コッパを伺ったところ、」コマセを入れてアタリがなかったら、すぐにコマセを詰めて投入することでアジを寄せること。ただ待っていたら釣れないので。」と教えてもらった。手返しよく釣らないとだめだということだ。また、「後に行った釣り場は、型は小さいけど脂がのった美味しいアジで、そのまま寿司で食べるとうまい。」とも教えてもらった。

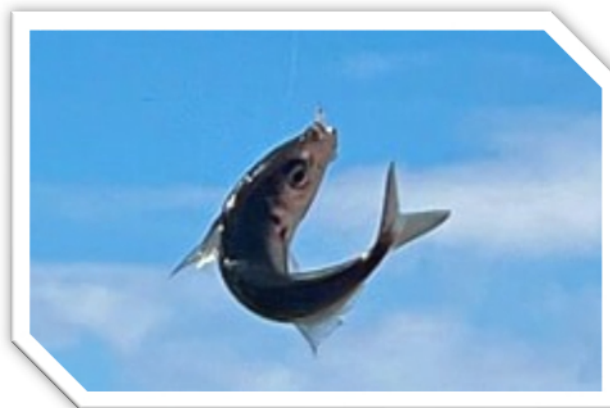
帰宅後、大きな四匹は開いて8%の塩水に一時間付け、翌日天日干しにしてアジの開き(干物)にした。残りの小アジは、若船長のアドバイスに従い、三枚におろして皮を引き、ネギや大葉と叩いてみそやしょうがを加えていわゆる「なめろう」というものを初めて作った。ねっとりとした脂分があり、その日の晩酌が進んだ。

釣果 アジ 田中 四十、鳥海 三十、町田 十四、市川 十

釣り座 右舷 鳥海 町田
左舷 市川 田中



小アジや大アジに混じって中型がよく釣れたようです。



令和6年度

会計報告

世話人会

摘要	収入金額	支出金額	
前年度繰越金	39,063		
年会費	27,500		11名 x 2,500
本部からの活動補助金	5,420		
研究懇談会参加費	0		中止
収入計	71,983		
会報編集・印刷発送活動・	代表渉外費	35,000	代表渉外、会報編集、会報発送
釣り大会		0	入賞盾、大物賞、参加賞
研究懇談会		0	
世話人会		0	会場謝礼、交通費補助
諸費	硬貨料金	0	
支出計		35,000	

差引残高(次年度へ繰越)

収入-支出

36,983 円

令和7年3月25日

右の通り報告いたします。

クラブ長 町田 静隆 印

会計担当 田中 正 印

「第三回・イナダ釣り会」案内

世話人会

ブリで四十センチくらいに成長したものをイナダといいます
が、引きが強く、食べておいしい魚です。回遊に出会うと、たくさ
ん釣れるので楽しみです。

記

一、期 日 九月十二日（金） 小雨決行
二、船 宿 腰越「秋田屋」

電話 0467・31・1289

江ノ電「腰越」 徒歩七分で腰越漁港へ
小田急「片瀬江ノ島」 7時20分 送迎あり

7時30分

三、集 合 一三、〇〇〇円（乗船料・仕掛け代・エサ・氷代
四、参加費 込み）。なお、六人の仕立てでの出船料金になりま
すので、六人集まらなければ中止となります。

五、釣 具 竿（負荷五〇号）または手釣り用具。リール（小
型電動）。中型天秤。ステカン五〇号。ゴムクッ
ション（二ミリ×五十センチ）

六、携行品 クーラー。昼食。飲み物。雨具。帽子。

七、釣り方 竿釣り：船長の指示するタナまで下ろし、竿いっ
ぱいしゃくりあげ、アタリを待つ。上げた分まで
リールを巻き上げ、またしゃくりあげ、アタリを
待つ。上の層まで繰り返し、アタリがなければ、
巻き上げてコマセを詰め替える。

※申し込み

同封のハガキにてお申し込みください。八十五円切手
を貼って投函してください。

「第四回・通算五十回記念アジ釣り大会」案内

世話人会

今年も千代田会恒例のアジ釣り大会を開催します。今回は千代田
会釣り部発足以来、通算五十回目の記念大会です。船宿は昨年と同
じ金沢漁港の「黒一丸（くろかずまる）」です。車の方は金沢漁港
（金沢区海の公園）に集合、電車の方は、金沢八景駅を出て、荒川
屋方面に向かう途中の元「ローソン」の前に7時20分集合で、若
船長が車で迎えに来てくれます。

記

一、期 日 十月十日（金） 小雨決行
二、船 宿 金沢漁港「黒一丸」 京急金沢八景駅下車、車で十
分（送迎有り）

電話 045・781・0691

駐車料 一日300円？

7時30分

三、集 合 電車の方は、ローソン前7時20分

四、参加費 二二、〇〇〇円（乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み）

五、携行品 クーラー。昼食。飲み物。雨具。帽子。タオル。

六、釣り具 竿（一用。貸し竿有り）。中・小型リール。竿掛け。
イワシミンチ用コマセ籠（三十号）中型片天秤。ゴ
ムクッション（三十センチ）。

青イソメの餌を付け、コマセかこにミンチを入れた
ら投入。錘が底に着いたら、糸ふけをとり、二m巻
き上げてコマセを巻く。さらに一m巻き上げてアタ
リを待つ。口が弱いのでゆっくり丁寧巻き上げ、
取り込む。

七、釣り方

※申し込み

同封のハガキにてお申し込みください。八十五円切手
を貼って投函してください。

退職校長会釣りクラブ
千代田会釣り部通信
(No.216)

会長：町田静隆 編集：齊藤徳蔵

2025. 3. 1 発行



令和7年度の活動計画策定と「ワカサギ釣り会」中止の説明

	(世話人会) 町田静隆	(1頁)
研究・懇談会報告	(世話人会) //	(2頁)
令和7年度の活動計画	(世話人会) //	(3頁)
「イシモチ釣り会」案内	(世話人会) //	(3頁)
「シロギス釣り会」案内	(世話人会) //	(4頁)
「アジ釣り会」案内	(世話人会) //	(4頁)

令和七年度の釣り部活動計画の策定にあたって

世話人会

本年一月の世話人会で令和七年度の釣り部活動計画を検討いたしました。数年にわたって参加者が少なく中止が続いている釣り会については計画から外して、継続的に実施できている5つの釣り会を実施することにしたしました。また、車を利用できない釣り会も、参加希望者が集まらない傾向があり、この点も、今回の釣り会の見直しの判断の一環として考えております。

それに伴って、釣り部通信も年間五回発行してきましたが、次年度からは三回に変更させていただきますのでご理解いただきたく存じます。三頁に年間予定を掲載しております。

次年度の会費についてですが、今年度同様に二五〇〇円です。四月の「シロギス釣り会」、五月の「アジ釣り会」に参加の際に徴収させていただきます。どちらにも不参加の場合は、別紙ご案内の通り、お振込みいただけますように宜しくお願いいたします。なお、令和六年度の会計につきましては会報217号にてご報告いたします。

「ワカサギ釣り会」中止の説明とお詫び

世話人会

一月十四日に予定していました、第六回「ワカサギ釣り会」が中止となりました経緯についてのご説明とお詫びを申し上げます。

例によって、はがきで参加者を募りましたところ、三名の希望者しかいませんでした。会の内規として、三名以下しか参加希望者が集まらない場合は、船代が出ないこともあり、釣行を中止しています。

今回は船代うんぬんはないのですが、(ドーム船ですので)河口湖駅からタクシーを利用しなければ湖畔までいけないことを考え、中止いたしました。参加を希望しておられた会員の皆様には、ご期待に添えられず大変申しわけなく、お詫びを申し上げます。

「研究・懇談会」報告

世話人会

令和七年二月八日（土）、武蔵野市西久保コミュニティセンターにおいて、本年度の「研究・懇談会」が行われた。一昨年前までは、池袋のイケ・ビズの部屋を借りて実施していたのだが、昨年予約に行くと、豊島区民優先のため、予約できずやむなく中止となった。その経緯をふまえて、武蔵野市民の鳥海世話人の推薦で、前述の場所での開催となった。

十三時十分、三鷹駅に参加者五名が集合して、駅前の崎陽軒の売店で、シウマイ弁当を購入。センターに向かう途中にある東急ストアで、飲料を購入した。徒歩約十分でセンターに到着した。

弁当を食べながら会は始まった。ひとしきりしてから会長挨拶で、一月の世話人会で話し合った、釣りの会の縮小について説明を行った。会員の高齢化・人数減少で、月一回の釣りの会の実施が困難になり、参加者が期待できる釣りに絞って行うことを説明した。その後、昨年的一般会計について田中世話人から説明があった。また、会報の編集担当となった鳥海世話人から、三月の会報の内容についての相談を行うなど、普段の釣り会ではなかなかできない釣り談義のコミュニケーションを行うことができた。

例えば、シロギスは、底を這うエ



サを上から狙って食べるので、エサは底から離さず引きずって釣るのがよいとか、何時も抜群の釣りの数を誇る田中名人には、どうしたらアジをあれだけ釣ることができるとかという質問も出た。アジは、イシモチのように一気にエサを吸い込んだりせず、一度エサを吸い込んでも、すぐに吐き出すので、その吸い込んだタ イミングを逃さず合わせるこ とが数を釣るには必要である（これが易しそうで、とても 難しいのだが）とかいう答え であった。ほかには、ソーダガ ツオは、すぐに血抜きをしないと食べられなくなるとか、 イシモチも釣れたらすぐにエ ラの下をはさみで切って、バ ケツに放り込んで血抜きをしたほうが、味がよくなるというよう なさまざま話題が出て、とても良い研究懇談の場が持てた。

また、千代田会釣り部通信の第五集（第一五一号から第二〇〇号 まで）を今年度中に発行することについても話し合った。

最後に、全員で集合写真を撮ってもらい、散会した。



令和7年度（2025年）釣りクラブ年間予定

四月十八日（金）第1回「シロギス釣り会」（広島屋）

五月十六日（金）第2回「アジ釣り会」（金沢漁港・黒一丸）

七月 一日（木）会報第217号発行

九月 六日（土）第1回世話人会

九月十二日（金）第5回「イナダ釣り会」（腰越・秋田屋）

十月 十日（金）第50回「アジ釣り大会」（金沢漁港・黒一丸）

十二月 一日（月）会報第218号発行

令和八年（2026年）

一月十七日（土）第2回世話人会

二月十四日（土）釣り部研究・懇談会

三月十八日（水）第7回「イシモチ釣り会」（金沢漁港・黒一丸）

（四月一日（水）会報第219号発行）

第六回「イシモチ釣り会」のお知らせ

世話人会

令和六年度、最後の釣行になる「イシモチ釣り会」は、金沢漁港の「黒一丸（くろかずまる）」で行いたいと思います。車の方は金沢漁港（金沢区海の公園）に集合、電車の方は、金沢八景駅を出て、荒川屋方面に向かう途中の元「ローソン」の前に7時20分集合で、若船長が車で迎えに来てくれます。

記

一、期 日 三月十二日（水）

小雨決行

二、船 宿 金沢漁港「黒一丸」

京急金沢八景駅下車、車で十分

（送迎あり） 電話045・781・0691

駐車料 一日（300円）

三、集 合 七時三〇分（電車の方は元ローソン前七時二〇分）

四、参加費 二、〇〇〇円（乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み）

五、釣 具 竿（負荷10～20号）リール（小型）

錘（20～30号）

六、携行品 クーラー。昼食。飲み物。雨具。帽子。

七、釣り方 錘が着底したら、糸ふけを取り、竿を水平に保つ。

数十秒ごとに錘を三〇センチ位上げ、また下げて誘う。アタリは明確だがすぐに上げず追い食いを待つ。

※申し込み 同封のハガキで申し込んでください。

第一回「シロギス釣り会」のお知らせ

世話人会

令和七年度最初の釣り会はシロギスです。身は小さいけれど味は良く、刺身・焼き魚・天ぷら・一夜干し等どれもおいしいのです。釣りやすい魚ですから、日並みのよい日は百匹(一束)釣りも可能です。昨年同様、横浜・新山下の「広島屋」で行います。

記

一、期 日 四月十八日(金) 小雨決行

二、船 宿 横浜・新山下「広島屋」

みなとみらい線 元町・中華街駅

(徒歩五分) 横浜市中区新山下一三二六

電話 045・622・8615

三、集 合 七時 船宿

四、参加費 二二,000円(乗船料・掛け代・エサ・氷代込み)

五、釣 具 竿(負荷一〇〜二〇号) リール(小型)

錘(一〇〜二〇号)

クーラー。昼食。飲み物。雨具。帽子。

・最近は胴付き一本針の仕掛けで、船下を釣るのが主流である。海底から三十センチくらい上までをゆっくり探る。錘で海底をたたき、砂を巻き上げて誘う。道糸はいつもたるまさないで張っておく。

・スピニングリールの天秤使用の二本バリ仕掛けは、アンダースローで投げ、ゆっくり引き寄せながらアタリを待つ。アタリがあったら軽く合わせ、追い食いを待つ。

(エサは、イソメを三センチくらいに切って使う)

※申し込み 同封のハガキで申し込んでください

第二回「アジ釣り会」のお知らせ

世話人会

令和七年度、第二回「アジ釣り会」は、昨年同様、金沢漁港の黒一丸にて実施します。

記

一、期 日 五月十六日(金) 小雨決行

二、船 宿 金沢漁港「黒一丸」

京急金沢八景駅下車、車で十分

(送迎あり) 電話045・781・0691

駐車料 一日300円

三、集 合 7時30分。電車の方は、荒川屋に向かう途中の

元「ローソン」前7時20分

四、参加費 二二,000円(乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み)

五、携行品 クーラー。昼食。飲み物。雨具。帽子。タオル。

六、釣り具 竿(「用。貸し竿有り)。小型リール。竿掛け。イ

ワシミンチ用コマセ籠(三十号) 中型片天秤。ゴムクッション(三十センチ)。

七、釣り方 イカタンや青イソメの餌を付け、コマセかごにミン

チを入れたら投入。錘が底に着いたら、糸ふけをと

り、二m巻き上げてコマセを巻く。さらに一m巻き

上げてアタリを待つ。口が弱いのでゆっくり丁寧に

巻き上げ、取り込む。

*申し込み 同封のハガキで、申し込んでください。

退職校長会釣りクラブ
千代田会釣り部通信
(No.215)

会長：町田静隆 編集：齊藤徳蔵

2024. 12. 1 発行



アマダイ釣り会中止の説明とお詫び (世話人会) 町田静隆 (1頁)

アジ釣り大会 (世話人会) 齊藤徳蔵 (2～3頁)

ワカサギ釣り案内 (世話人会) 町田静隆 (4頁)

釣り部研究・懇談会案内 (世話人会) 鳥海重年 (4頁)

アマダイ釣り会中止の説明とお詫び

(世話人会) 町田静隆

十一月八日に予定していました、第五回「アマダイ釣り会」が中止となりました経緯についてのご説明とお詫びを申し上げます。例によって、はがきで参加者を募りましたところ三名の希望者しかいませんでした。秋田屋では七時半出船の場合、仕立て扱いとなります。その条件として、六名以上で、一人一万三千円の乗船料がかかります。三名の参加では仕立て船の出船は、到底無理と判断し、今回は中止といたしました。

参加を希望しておられた会員の皆様には、ご期待に答えられず大変申しわけなく、お詫びを申し上げます。

さて、本会も、会員の高齢化と減少が続いており、今まで通りの月一回の釣り会の実施は、困難な状態となっております。そこで、一月の世話人会では、参加希望者の比較的多い釣りに絞って実施していこうということで、抜本的な改革を考えております。

例えば、三月の「イシモチ釣り会」、四月の「シロギス釣り会」、五月の「アジ釣り会」など、比較的会員の皆様の参加希望の多い釣り会だけを実施していくことにしていきたいと考えております。

このことについては、ぜひ会員の皆様のご意見を頂いたうえで判断していきたいと思っております。一月の第二回世話人会の前までに、今回のハガキの余白でも結構ですので、ご意見を頂きたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

第四九回アジ釣り大会報告

(世話人会) 齊藤徳蔵

第四九回アジ釣り大会、歴史を感じる。千代田会釣り部通信、第三集、第四集、開いて見るといろいろ出てくる。

発足当時、釣りクラブは七九名の大所帯だったそうである。一九九六年〜二〇〇〇年までは「中・小アジ釣り大会」と銘うっている。サビキ釣りである。二〇〇一年から「アジ釣り大会」になっている。「中・小アジの不漁、中アジは浅場でビシ釣りができる」という船頭の話から、サビキ釣りからビシ釣になり「アジ釣り大会」になったらしい。先輩方の苦労と研究熱心さがうかがえる。

さて本題にはいる。私は京急金沢駅を降り、旧ローソン跡で、黒一丸の若船長に迎えに来て貰い、会長と一緒に、金沢漁港に向かった。他の人たちは車できて、もう見えていた。総勢五名である。非常に淋しい。それでも元氣よく開会式をはじめた。

鳥海会員の司会で行われ、会長挨拶、田中会員のルール、諸注意があった。

八時二十分頃出港、三十分位で釣り場に着く。「始めてください」の船長の声で一齐に海中に落とす。

最近指がつったり、震えてしまう、エサが旨くつけられない。適当にエサをつけて、皆に習った。間もなく心地良い引きがあり二十センチぐらいのアジが上がって来た。自分でもびっくりした。

名人田中会員と殆ど同時である。他の人はまだ釣っていないようだ。今日はうまくいくかもしれない。もしかして優勝のチャンスも………」とバカなことが頭を過る。

しかし釣り上げたアジを針から離した途端糸が絡んでしまった。元に戻すのに大変な時間が過ぎる。結局は同じことの繰り返しである。他の人たちは多くはないがアジを釣り上げている。

そのうちにアタリはあるのだが上げてみると針を取られていることの連続になった。フグが針を噛み切ってしまうらしい。仕掛けを取り換えるのに時間がかかる。数回釣り場を変えたが、アジが釣れてもすぐフグが邪魔をする。同じような事を繰り返し一時半頃、納竿となった。釣り具等の整理をしながらふと目を前にやると、二百メートルくらい先に大きな潜水艦が上がっていた。壮観であった！

帰港して閉会式に移った。二人組になり釣果を確認、そして結果発表：……

(3ページへ)



※ 船長に話しを聞くと「魚の食いが悪かったのは、今年は暑い日や寒い日が交互に来て、水温が安定しないためです」だった。



写真（上） 第1位 市川会員の表彰

（下） 第2位 齊藤会員の表彰



一位 市川（感想）まさか私が一位とは、嬉しいです。
 二位 齊藤（感想）最下位の私が二位なんて恥ずかしい。
 お二人には盾を授与（昨年入賞者の田中氏、鳥海氏は今年の釣果に関わらず、入賞の対象外になります。）
 釣果 田中二四 鳥海十三 市川六
 座位 右舷 町田、鳥海、
 左舷 市川、田中、齊藤



写真左

（上）町田会員

（中）市川会員

（下）齊藤会員

写真右

（上）田中会員

（下）横浜市金沢漁港

当日は快晴、ほぼ無風の
 絶好の釣り日和でした。



第六回 「ワカサギ釣り会」案内

(世話人会) 町田静隆

寒い一月は、温かいドーム船でワカサギ釣りをやることになりました。
クーラーボックスだけで参加できます。

記

一、日時 令和七年一月十四日(火)

二、場所 川口湖ドーム船・浅間丸090-8878-4422

山梨ハイヤー 0555-22-1800

(行き) 高尾(7:25) ↓ 河口湖(9:14) タクシー
で河口湖大橋下駐車場。ボートでドーム船へ

(帰る) 河口湖駅(13:30) ↓ 大月(14:30、
14:48) ↓ 高尾(15:26)

三、参加費 9000円(乗船料・釣り道具・エサ・タクシー代込)

四、携行品 防寒服装。クーラー(氷持参)。昼食・飲み物。タオル。

五、釣り方 ①エサを付け、投入し、錘を着底させる。五センチくらい持ち上げて止め、活性の状況を見る。②アタリがなければ、竿先を十センチ位の幅で上下させる(シェイキング)。

③誘いを十秒位続けたらピタッと止め、食いつくタイミングを与える。⑤アタリがない場合は、タナを十〜二十センチ上げてシェイキングを繰り返す。

六、料理 そのまま水洗いして、拭き取り、天ぷら、酢の物。

*申し込み 同封のハガキで申し込みください。

釣り部「研究・懇談会」案内

(世話人会) 鳥海重年

記

一、日時 令和七年二月八日(土) 13:30-16:30

二、会場 武蔵野市西久保コミュニティセンター二階和室

(中央線三鷹駅下車 北口から徒歩7分(地図参照))

住所 武蔵野市西久保一丁目三十七

三、参加費 2500円(弁当、飲み物、お菓子代等)

※当日、会場で徴収させていただきます。

四、主な内容 ①今年度の釣り状況の報告

②会員の皆様からのご意見、感想等

③来年度の釣りの会への要望、他

主以上の内容について、話し合う予定です。日頃の釣りにては話をする時間も無く解散になってしまいますので、会員の皆様のさまざまなお考えを伺いたいと思っています。

※申し込みは同封のハガキ
でお願いいたします。

釣りの会へのご意見等を同封
のがきで、または封書でお
知らせください。よろしくお
願いいたします。



Bakery Café Crown
の手前で左折します。



退職校長会釣りクラブ
千代田会釣り部通信
(No.214)

会長：町田静隆 編集：齋藤徳蔵

2024. 10. 1 発行



第1回世話人会報告	町田静隆	(1頁)
第6回イナダ釣り会報告	鳥海重年	(2頁)
第49回「アジ釣り大会」案内	世話人会	(3頁)
第5回アマダイ釣り会案内	世話人会	(3頁)
令和6年度新入会員歓迎ニジマス釣り会中止のお詫び	町田静隆	(4頁)
令和5年度会計報告	田中 正	(4頁)

第一回世話人会報告

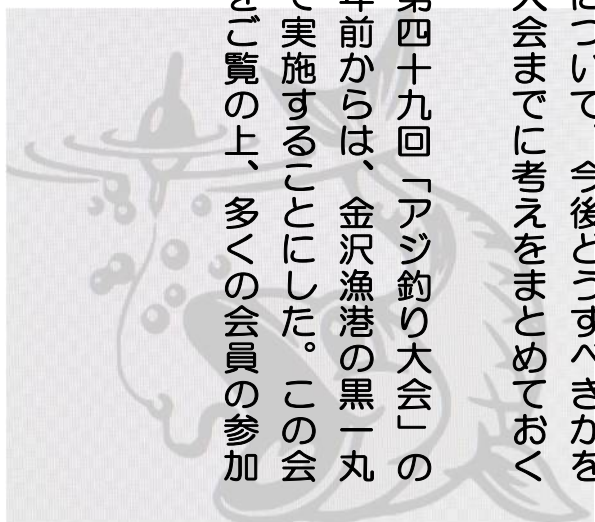
会長 町田 静隆

令和六年度、第一回目の世話人会が、九月七日(土)に退職校長会事務局で行われた。世話人会とは、毎年二回、九月と一月の第一土曜日の十時から行われており、年間の釣り計画の予定の決定や、懇談会の企画、それから一般会計(会員からの年会費の運用)や特別会計(毎回の釣り会の会費の運用)を世話人全体で確認することを目的として行われている。

今回の世話人会では、現時点までの一般会計と特別会計の執行状況の確認がまず行われた。出納簿と領収書の照らし合わせを行い、適正に執行されていることを確認した。

次に、九月に予定されているイナダ釣り会について確認した。(1) また、参加者の減っている釣り会について、今後どうすべきかを検討した。各自、次の第二回世話人会までに考えをまとめておくことを確認した。

最後に、十月に予定されている第四十九回「アジ釣り大会」の企画・運営について検討した。数年前からは、金沢漁港の黒一丸で実施しており、今年も引き続いて実施することにした。この会報の「アジ釣り大会のお知らせ」をご覧の上、多くの会員の参加をお願いします。



第六回イナダ釣り会報告

鳥海 重年

九月十三日(金)、腰越漁港の秋田屋さんに仕立てをお願いしてイナダ釣りを実施した。当日は久しぶりに六人参加の予定だったが、町田会長と齋藤会員不参加となつて、田中会員、佐藤会員と息子さん、鳥海の四人での釣行となった。出航は少し遅くなって八時頃。快晴の真夏日、風はなく波も穏やか。

港を出て十五分位の近場、江の島が間近に見える沖合で船長から声がかかる「始めてください。二〇メートルまで落として上の方にしゃっくり上げてください」。速攻で隣の秋田屋さんの竿がしなる。大型のイナダがダブルで上がり床をたたきつけて暴れまわる。そのうちに大型のイナダがあちこちで上がり始めた。大方十五メートルあたりがポイントのようだったが、追い食いが激しく三メートルくらいでもコマセを入れ替えるために挙げてきたところで食いが入るようなこともあった。

気が付けば三時間が過ぎていた。久しぶりに夢中になって釣りに没頭できた。場所の移動は全く必要なし。絶好のポイントに案内してくれた秋田屋さんに感謝！田中会員はイナダの他にタイとソウダカツオ、佐藤会員は二人でイナダの他にタイ、カンパチ、ワラサ、特にワラサは七十五センチ級の大物で大型アイスボックスを満たした。鳥海会員はイナダの他にソウダカツオ。何匹釣りあげたか数えるのも大変なのでアイスボックスの写真を撮らせていただきました。

十一時頃には納竿し、寄港。船長が何度か「水分を補給しながらやってくださいね」とアナウンスしていたがこの炎天下では短時間で釣果を上げることや客の安全を考えてくれた結果が今日の釣果につながったと思います。早めに切り上げていただいていたよかったです。体力の消耗を考えると早上がりで大正解。疲れしました。

右舷(鳥海、田中)
左舷(佐藤、佐藤)

帰宅後に二十数本のイナダを捌いて、刺身や焼きもの用、煮物用、干物に調理して一段落…、爆釣の後は爆睡、素晴らしい釣行でした。



お疲れさまでした！



田中会員の釣果

ご参加の皆さん



鳥海会員の釣果



佐藤会員の釣果

令和六年度

新入会員歓迎「ニジマス釣り会」中止へのお詫び

町田 静隆

新入会員歓迎「ニジマス釣り会」を中止した経緯について、説明とお詫びをいたします。

氷川マス釣り場で実施する予定でしたニジマス釣り会でしたが、猛暑日の続く八月の天候を考えると、日除けのないマス釣り場での実施というのは、いかなものかという意見もあり、中止という結論に至りました。

幸い、九月に実施する「イナダ釣り会」では、日並みが良ければ爆釣というイナダ釣りは毎年会員の皆様の期待も大きく、五人の参加希望をいただいております。

十月には、第四十九回となる「アジ釣り大会」があります。(会のご案内が別途ありますので、ご覧ください。)五月のアジ釣り会は、こちらの不手際もあり中止となっておりますので、ぜひ多くの会員の方の参加希望をお願い申し上げます。

令和5年度

会計報告

世話人会

収入の部	摘要	収入金額	支払金額	
	前年度繰越金	41,943		
	年会費	20,000		8名 × 2,500
	本部からの活動補助金	12,230		
	研究懇談会参加費	0		中止
	収入計	74,173		
支出の部				
	会報編集・印刷発送活動・	代表渉外費	35,000	代表渉外、会報編集、会報発送
	釣り大会		0	入賞盾、大物賞、参加賞
	研究懇談会		0	中止
	世話人会		0	会場謝礼、交通費補助
	諸費	硬貨料金	110	
	支出計		35,110	

差引残高(次年度へ繰越)

収入－支出

39,063 円

令和6年3月31日

右の通り報告いたします。

世話人会代表

町田 静隆 印

会計担当

田中 正 印

第四十九回「アジ釣り大会」案内

世話人会

今年も千代田会恒例のアジ釣り大会を開催します。船宿は昨年と同じ金沢漁港の「黒一丸（くろかずまる）」です。車の方は金沢漁港（金沢区 海の公園）に集合。電車の方は、金沢八景駅を出て、荒川屋方面に向かう途中の「ローソン」（工事中）の前に七時二十分集合で、若船長が車で迎えに来てくれます。

記

- 一、期 日 十月十一日（金）小雨決行
- 二、船 宿 金沢漁港「黒一丸」 京急金沢八景駅下車、車で十分（送迎有り） 電話〇四五、七八一、〇六九一
駐車料 一日三百円？
- 三、集 合 七時三十分 電車の方は、ローソン前七時二十分
- 四、参加費 二一、〇〇〇円
（乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み）
- 五、携行品 クーラー。昼食。飲み物。雨具。帽子。タオル。
- 六、釣り具 竿（「用。貸し竿有り）。中・小型リール。竿掛け。イワシミンチ用コマセ籠（三十号）。中型片天秤。ゴムクッション（三十センチ）。
- 七、釣り方 イカタンや青イソメの餌を付け、コマセかごにミンチを入れたら投入。錘が底に着いたら、糸ふけをとり、二m巻き上げて「コマセを巻く」。さらに二m巻き上げてアタリを待つ。口が弱いのでゆっくり丁寧に巻き上げ、取り込む。
- 八、表彰 アジの数で一位～二位。

※申し込み

同封のハガキで申し込んでください。十月からは八十五円切手を貼って投函してください。十月五日までにお願いたします。

第五回「アマダイ釣り会」案内

世話人会

アマダイは高級魚として有名です。それだけに数多く釣るとは難しい魚種ですが、その分釣り心をそる魚です。三枚におろして昆布で締めた刺身のおいしさは格別です。

記

- 一、期 日 十一月八日（金）
- 二、船 宿 腰越「秋田屋」
電話 〇四六七・三一・一二八九
江ノ電「腰越」 徒歩七分で腰越漁港へ
- 三、集 合 七時三〇分
- 四、参加費 一三、〇〇〇円
（乗船料、仕掛け代、エサ、氷代）
- 五、携行品 クーラー、昼食、飲み物、帽子、タオル
- 六、釣り具 竿（負荷六十号） 中型リール（電動があれば望ましい）、中型片テンビン、竿掛け、錘六十号
- 七、釣り方 アマダイ釣りは、コマセを使わず、片テンビン仕掛けで釣る。沖アミのエサをつけ投入。海底近くを狙うので、錘が着底したら、ハリスの分だけ錘を上げ、海底を叩くようにおろして誘う。

※申し込み

同封のハガキで申し込んでください。十月からは八十五円切手を貼って投函することになりますのでご注意ください。



千代田会釣り部通信

NO, 213

2024年7月 1日

編集 齊藤徳蔵

会長 町田静隆

2024年度 釣りクラブ年間予定表		世話人会	1
本牧海釣り会 報告		世話人会	2
アジ釣り会の中止と経緯とお詫び		世話人会	3
第3階7月釣り会中止について		世話人会	3
新人歓迎 ニジマス釣り会のお知らせ		世話人会	4
第4階「イナダ釣り会」のお知らせ		世話人会	4



二〇二四年度 釣りクラブ年間予定表

四月一三日(金)	第一回「シロギス釣り会」(新山下・廣島屋)
五月一日(水)	会報第二二二号発行
五月十日(金)	第二回「アジ釣り会」(金沢漁港・黒一丸)
六月十三日(木)	「五目釣り」(本牧海釣り公園)
七月一日(月)	会報第二二三号発行
七月 日()	第三回「検討中」()
八月五日(月)	新入会員歓迎会「ニジマス」(氷川マス釣り場)
九月七日(土)	第一回世話人会
九月一三日(金)	第四回「イナダ釣り会」(腰越・船宿未定)
十月一日(火)	会報第二二四号発行
十月十一日(金)	第四九回アジ釣り大会(金沢漁港・黒一丸)
十一月八日(金)	第五回「アマダイ釣り会」(腰越・船宿未定)
十二月一日(日)	会報第二二五号発行
一月四日(土)	第二回世話人会
一月十四日(火)	第六回「ワカサギ釣り会」(河口湖・浅間丸)
二月八日(土)	釣り部 研究・懇親会
三月一日(土)	会報第二二六号発行
三月十四日(金)	第七回「イシモチ釣り会」(金沢漁港・黒一丸)



本牧海釣り会報告

世話人会

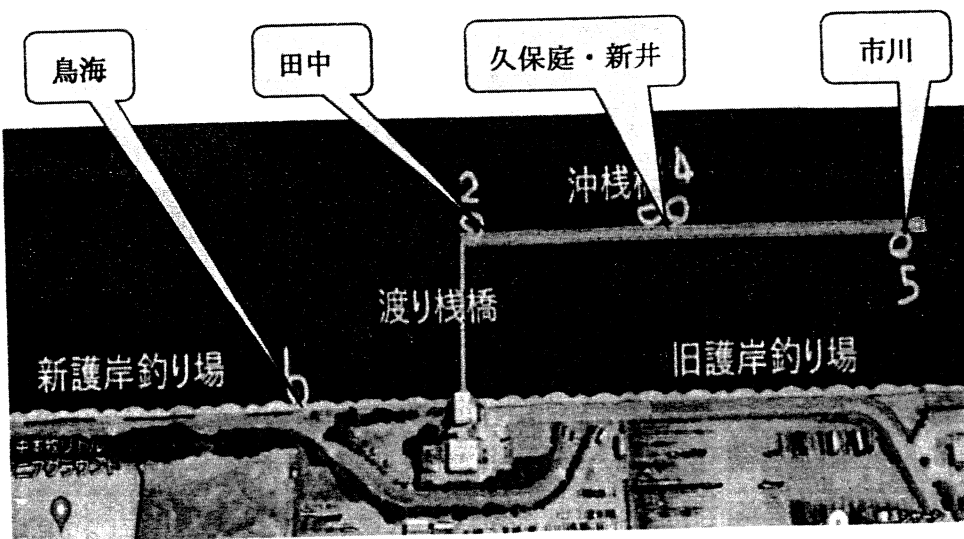
六月十三日（木）に東京湾横浜の本牧海釣り施設で釣りを開催した。釣り船での釣行と違って自由勝手が効く利点はある。当日の天候は曇りで日差しも緩やかでほぼ無風状態のいいコンディションであった。

今回は集合時刻、解散時刻を設定しないで各自、自由に釣りを楽しむことにした。参加者は市川さん、久保庭さん、新井さん、田中さん、鳥海の五人。釣り場は旧護岸、新護岸、渡り棧橋、沖棧橋の四カ所。事前に町田会長からいたいたそれぞれの釣り場でのターゲットとなる魚に狙いを定めて各自釣り場を選択。新護岸釣り場に鳥海、沖棧橋に田中さん、久保庭さん、新井さん、市川さんが釣り場を確保した（下の図の通り）。

鳥海は七時半ころに釣り場に到着。売店でコマセとイソメとアイスボックス用の氷を購入し釣果を期待して釣り場へ。当日は平日だったためか釣り客は比較的少ない。新護岸では一ブロックを全く一人で使い放題。サビキ釣り仕様で投入。釣り竿は一人二本までの同時使用を認められているので二本を使う。

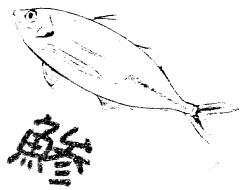
一時間経ち、二時間経ち、三時間経ても全くあたりすら無し。周りの釣り人も当たりがなく、手持無沙汰といった様子。余りにも釣れる気配の無さに管理棟の係の方に伺ったところでは、朝とか夕とか潮の流れとかには

関係なく2020年ころから釣果が落ち込んできているという話だった。五人とも釣果はゼロ。コマセも無くなり、昼過ぎまでには皆さん帰路に就いたようだ。お疲れさまでした。
(鳥海重年 記)



アジ釣りの中止の経緯とお詫び

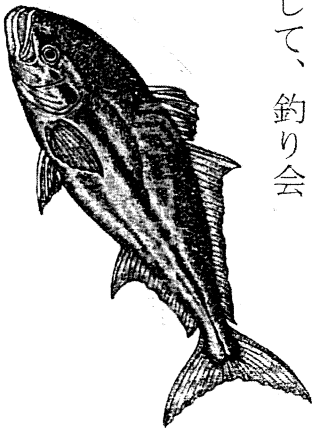
世話人



第4回7月釣りの中止について

世話人会

五月十日に予定をしていました「アジ釣りの会」の中止について、ご説明とお詫びを申し上げます。五月の連休前に、参加申し込みがあつたのは、二名しかなく、四日には、船宿へ人数が集まらないので、今回は中止するとの電話を入れました。その後、連休が終わると、二名の参加申し込みがあり、実施できる人数となりましたが、時すでに遅く、中止となりました。来年度は、この反省を生かして、釣りを一週間遅く設定しようと思います。



7月の釣りの会については、1月の世話人会でもペンディングになっておりましたが、釣り物の種類がないことと、7月の猛暑を考えると、高齢釣りクラブには、いささか危険ではないかと考え、今回から中止しようと考えております。何かいい釣り物がありましたら、ご教授いただけましたら、世話人会でも検討させていただきたいと思っております。

文責 町田

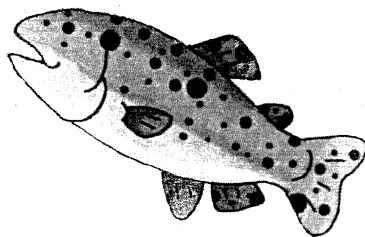
新入歓迎 ニジマス釣り会のお知らせ

世話人会

大月の釣り場が中止になってしまい、八月の釣り会が昨年中止になったことから、今年度は、奥多摩駅から徒歩五分にある氷川マス釣り場に変更して実施したいと思います。

記

- 一、期 日 八月五日(月)
- 二、場 所 氷川マス釣り場
西多摩郡奥多摩町氷川三九七、
TEL〇四七八(八三)二二四七
- 三、集 合 九時 入り口前
- 四、参加費 入場三千八百円 貸し竿四百円 イクラ四百円
ブドウ虫四百円
- 五、携行品 クーラーボックス(氷は持参) 雨具 帽子 タオル
- 六、釣り方 イクラを三粒ほど針にかけ、流れに投げ込む。
- 七、昼 食 食堂あり。塩焼きも注文できる。



第四回「イナダ釣り会」のお知らせ 世話人会

フリで四十センチくらいに成長したものをイナダといいますが、引きが強く、食べておいしい魚です。回避に出合うと、たくさん釣れるので楽しみです。

記

- 一、期 日 九月十三日(金) 小雨決行
- 二、船 宿 腰越「秋田屋」 TEL〇四六七・三一・一二八九
江ノ電「腰越」徒歩七分で腰越漁港へ
小田急「片瀬江の島」 七時二〇分 送迎あり
- 三、集 合 七時三〇分
- 四、参加費 一万三千円(乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み)
- 五、釣り具 竿(負荷五〇号)または手釣り用具。リール(小型電動)。中型天秤。ステカン五〇号。ゴムクッション(二ミリ×五十センチ)
- 六、携行品 クーラー。昼食。飲み物。雨具。帽子
- 七、釣り方 ① 竿釣り・船長の支持するタナまで下ろし、竿いっぱいしゃくりあげ、アタリを待つ。上げた分までリールを巻き上げ、またしゃくりあげ、アタリを待つ。上の層まで繰り返し、アタリがなければ、巻き上げてコマセを詰め替える。
- ② 手釣り(八の字釣方)・右手で幹糸を手繰り上げ素早く左手に持ち替え、幹糸を掴んで手繰り上げる。

※申し込み 同封のハガキで申し込んでください。

※申し込み 同封のハガキで申し込んでください。



2024. 5. 01

編集 齊藤徳蔵

会長 町田静隆

「岩森会員を偲んで」	・ ・ ・ ・ ・	藤本義功	1
「イシモチ釣り会」が中止になりました	・ ・ ・ ・ ・	田中 正	2
釣りクラブ会長挨拶	・ ・ ・ ・ ・	町田静隆	3
第1回「シロギス釣り会」報告	・ ・ ・ ・ ・	世話人会	3
第2回「アジ釣り会」案内	・ ・ ・ ・ ・	世話人会	4
第3回「本牧海釣り公園釣り会」案内	・ ・ ・ ・ ・	世話人会	4

「岩森会員を偲んで」

藤本美男

岩森元会員は、長年世話人会の役員として活躍されました。体調をくずされ今年一月に退会し、三月四日病気で亡くなりました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

岩森さんは、私と同じ年です。私は、退職後五年間、不登校の児童・生徒（小四〜中三）の指導を（月曜・金曜日）嘱託として勤め、その後、釣りクラブに入会し、岩森さんに初めてお会いしました。明るく優しい方で、多くの事を学ぶことが出来ました。釣りが大好きで、釣り会は、ほとんど参加です。夏には北海道に行き、川で多くの魚を釣り自慢していました。普段も、近くの川や海に出掛けて、釣りを楽しんでおり、経験が豊かで釣りは上手でした。通信一四八号に投稿「思い出した静内川釣り」の一部を紹介。「・・・下流でアメマス 1

が釣れ、車で上流を目指したがダムで釣れず引き返す・・・」

下田の釣り宿「爪木崎」を紹介してくれたのも岩森さんです。イサキが何時も豊漁・マダイの大物釣り（私も釣りましたが他に何人も）、食事が美味しい・温泉に入浴・カレンダー等のお土産が人気で好評。

千葉の外川での一泊ハナダイ釣り会で、近所だから車で行きましようとして迎えに来てくれました。近くの「瓜生バス停」で待ち合わせた時間がなくなっても来ないので、電話したら「停留所で待っている」と言われた。（私は京王バスのバス停、岩森さんは市民バスのバス停で待っていた）私のミスで大変失礼いたしました。車の運転は上手で、いろいろなことを話して下さり楽しく・勉強になりました。

「釣った魚は、家で写真を撮り、記録して、自分でさばき・料理した」と奥様が話された。釣りクラブでのご活躍に感謝申し上げます。

「イシモチ釣り会」が中止になりました

三月の第6回イシモチ釣り会は、参加者が少ないため中止になりました。非常に残念でした。そこで、来年は多くの参加者があるように、イシモチ釣りの魅力について書きたいと思います。

イシモチ釣りの魅力は、釣り安さと引き味の良さにあります。イシモチは貪欲な魚で、すぐ餌に食いつきます。例えば釣り逃しても、釣針に餌さえ残っていれば再び食ってきます。そのため誰にでも釣ることができます。その反面数を伸ばすには工夫が必要です。

餌を喰うと、ブルブルという強いあたりがあります。しかし、早合わせは禁物です。理由はアオイソメの一匹掛けにあります。餌が長く、警戒心が強いので、少しずつ餌をかじりながら最後に針が口に入ります。ググッと引くまで待ち、ゆっくり巻き上げて確認します。持ち上げるタイミングで掛かることが多いようです。

すぐ合わせると端だけ噛みきられて逃げられてしまいます。待つていれば、針掛かりすると勝手に暴れて掛かります。長いときは半分に切り2本房掛けにするとアピール度が増します。餌は繰り返し使えます。短くなったら付け足しも可能です。

波が穏やかなときは、置き竿に掛かることも多いと言われています。手持ち竿の不自然な動きが、警戒心を持たせるのかもしれない。波が高いときは良くないようです。仕掛けの激しい動きがイシモチに警戒させてしまうのかもしれない。

釣り方のコツは、イシモチは砂地の海底付近を泳いでいるため、仕掛けが浮かないようにします。そのため、錘の着底後糸ふけを取り、錘が海底に着くか着かないかの状態で、竿を水平に保つように

します。警戒心が強いので、引きずらないようにします。数十秒ごとに錘を30cmぐらい上げ、また下げて魚を誘う。

良く釣れていても、全くあたりがなくなることがあります。それは、イシモチは潮が流れないと餌を喰わなくなるためです。潮が流れ出し、また喰い出すのを待つしかないのかもしれない。

釣れなくなってきたとき、キャストすると、良い結果を生む場合があるようです。

イシモチの魅力は、高級カマボコ material になるほどの味の良さです。淡泊な白身魚でいろいろな調理法があるようです。その半面、身が柔らかいことが難点です。

一般的な食べ方としては、塩焼きや、しょうゆ・酒・みりんなどで煮付けて食べることが多いかも知れません。また、アラからは美味しい出汁が出るので、潮汁などにすることが出来ます。

我が家では刺身で、おいしく食べています。その新鮮さは魚屋では決して買えません。ただし、血に独特の臭みがあり、刺身にするには血抜きが欠かせません。方法は簡単で、釣ったらすぐエラの下に三角形の、付け根から1cm腹側に心臓(赤い球)があるのでそこをハサミで切ります。そして海水に3分〜5分入れておけば血抜きが完了するのでクーラーに移してあげれば良いようです。

身の柔らかさは、昆布締めなどで水分を抜いてあげるのもおいしく食べる工夫かもしれません。

イシモチに片栗粉、卵白、砂糖、塩を加えてフードプロセッサーですり身を作り、油で揚げてさつま揚げにすると、酒のつまみとしておいしく食べることができるようです。

会長の町田です。本年も昨年に引き続き、よろしくお願い申し上げます。なお、世話人の先生方は、(敬称略)齊藤 徳蔵、島海 重年、田中正です。藤本先生は、奥様の病気の介護のため、世話人を今期から外れました。

さて本年度は、コロナの影響なく、月例の釣り会を実施できそうです。第一回「シロギス釣り会」は六人の参加者が出ていまして、久し振りの釣行に、皆様、期待が高まっていらっしゃるようです。

令和六年度の釣りクラブは引き続き参加人数の減少に対する対策が必要であると思われます。山村先生のお嬢様から先日、お電話を頂き、入院中のこともあり昨年度で退会したいと申し出がありました。これで正会員は九人となりました。人数が少なくても仕立て船が出せる船宿を開発として、十人そろわないと難しい、荒川屋や吉野屋を外し、金沢漁港の黒一丸や新山下の広島屋という船宿を開発しました。両者とも五人そろえば仕立ての船が出せる船宿です。さらに今年は、一泊ワラサ釣り会を中止し、本牧の海釣り公園でのいわゆる「陸っぱり」を初めて実施することにいたしました。今後とも会員の皆様のご意見を充分頂いた上で、改善できるところは、来年の新年懇談会までに皆様にお測りできる叩き台をお示ししたいと思っております。また釣り物に關しても、七月、九月の暑い時期の良い釣り物を検討する必要があるのではと考えております。

今年度も、良い釣り会となりますように、精一杯務めさせていただきますので、会員の皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

二〇二四年度の第一回目の「シロギス釣り会」は、船宿を新山下の「広島屋」で行うこととなった。「広島屋」は、みなとみらい線の「元町・中華街駅」の先頭の出口、「山下口」を出て、港の見える公園を右手に見て通過し、ドンキホーテの前の横断歩道を渡ると徒歩五分で着くというロケーションの良い船宿であった。

四月十二日(金)結局六人が参加となった。

右舷、左舷に三人ずつ分かれて座り、八時過ぎに出船。横浜ベイブリッジの下をくぐり、船は一目散に東京湾の横浜と木更津のほぼ真ん中に位置する「中の瀬」に十分ほどで到着する。この瀬は、シロギスの良い釣り場として知られているが、その東西は、大型船の立てる波の余波をもろに浴びたりする場所であった。

この日は気温が低く、釣り後半には雨も降りだすなど、コンディションも良くなかった。しかもあたりはあるのだが、すぐ離してしまうという食いの立たない釣りとなった。しかし、苦戦しながらも全員シロギスをゲットした。

我が家では、キスを釣ってきた時しか天ぷらを作ってくれない妻が二年ぶり(昨年は強風で中止)に食べるとおいしいと絶賛したキス天であった。

釣果 シロギス 田中 二五 藤本 十 町田 七 平均八・八
釣座 右舷 田中 新井 久保庭

左舷 町田 齊藤 藤本

町田(記)



第二回 「アジ釣り会」案内

世話人会

令和六年度、第一回「アジ釣り会」は金沢漁港の「黒一丸」くろかずま
る」で実施します。

記

一、期日 五月十日(金)

小雨決行

二、船宿 金沢漁港「黒一丸」 京急金沢八景下車、車で十分

(送迎あり) 電話045・781・0691

駐車料 一日三百円

三、集合 七時三十分 電車の方は、荒川屋に向かう途中の

元「ローソン」(今改修中) 午前七時二十分

四、参加費 一万円(乗船料・仕掛け代・エサ、氷代込み)

五、携行品 クーラー・昼食・飲み物・雨具・帽子・タオル

六、釣り具 竿(二)用 貸し竿あり・小型リール・竿掛け・

イワシミンチ籠(三〇号) 中型片テンビン・ゴムクッション(三

〇センチ)

七、釣り方 イカタンや青イソメのエサを付け、コマセ籠にミンチを入

れたら投入。錘が底に着いたら、糸ふけをとり、一m

巻き上げてコマセを巻く。さらに一m巻き上げてアタ

リを待つ。口が弱いのでゆづくり丁寧に巻き上げ、取り

組む。

※ 申し込み 同封のハガキで申し込んでください。

第三回 「本牧釣り公園釣り会」案内

世話人会

令和六年度は、参加者の集まらない一泊釣り会をやめ、初めての
「陸っぱり」に挑戦することになりました。

記

一、期日 六月十三日(木)

二、場所 本牧海釣り公園

横浜市本牧ふ頭

電話〇四五―六三―一二四一

三、集合 食堂前 一二時

今回が初めての実施ですので、適宜釣り初めていただきたい
と思います。

なお公園は七時から一七時まで開いています。

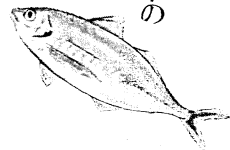
四、料金 入場料 九〇〇円 他に仕掛け代、エサ代必要

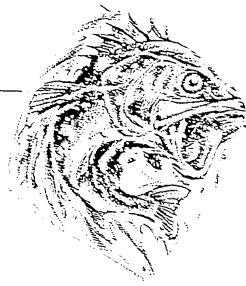
五、駐車場 一二百三十台

六、バス 横浜市営バス二十六系統 海釣り棧橋城

横浜駅東口または桜木町

※ 申し込み 同封のハガキで申し込んでください。





随想		齊藤徳蔵	1
魚・貝類のクイズ		藤本美男	2
第7回「イシモチ釣り会」案内		世話人会	3
第1回「シロギス釣り会」案内		世話人会	3
「ワラサ釣り会・ワカサギ釣り会」中止のお詫び		世話人会	4
釣り部「研究・懇談会」中止のお詫び		世話人会	4

随想

世話人会

私は鹿児島県の田舎で生まれ、育った。父は教員そして、教育委員会で勤めていた。両親と七人姉兄弟の大家族だった。そのため食べるのも困るぐらいで年中、腹を空かしていたように思う。

長兄と野山や川が空腹を何回も救ってくれた。

長兄は村中の野山のアケビ、山ぶどう、その他の木の実が何処に自生しているか、いつ食べられるかを把握していた。その頃になると私たちを連れて行き、袋にいっぱい入れて持って帰り家族で食べた。

川に行き魚等を取るのも神がかりと思える位優れていた。釣りのお供はいつも私だった。①うなぎ釣り用の3cmぐらいの長めの針に大きいミミズを付け、1m位の竹先に食い込ませ、ウナギのいる穴に差し込む。暫くするとうなぎが食う。うなぎがいる穴は決まっているのだそうである。一か月位過ぎると同じ穴でまた釣れる。帰りに行き交う人が羨ましがっていた。ただ大家族なので二・三cmのかば焼きだった。それでも美味しかった。②流れの速い淵にアユ取りに出掛ける。1m位の細い竹をくりぬき釣り糸を通す。先端に大きい鋭角な針を外に三本向け一緒に結ぶ。それを持ってアユのいそうな清流で水中1m位のところで泳ぎながら動かしアユを誘う。縄張り意識の強いアユは針に向かつて攻撃する。その瞬間釣り糸を引く。行くと共に二十四前後とれた。何回挑戦しても私にはできなかった。③その他モズクガニ取り、魚釣り、網での魚捕獲も得意であった。家族の腹を満たす漁師のようであった。田舎で教員だった長兄と云うのを楽しみによく帰った。その長兄も癌で亡くって十年を超える。

齊藤徳蔵



魚・貝類のクイズ

藤本

(釣りクラブで、年間に釣る魚について、出題しました。理解を深めると、今後、釣果が上がります)

* () に当てはまる語句を記入して下さい。

問一 四月 シロギス…最も数が多く釣れる5、8月をピークに

ほぼ (ア、) 中と長期にわたって楽しめる。エサは

青 (イ、) が圧倒的に多く、エサを

(ウ、) 習性なので、3、4 cmに切って付け

るとよい。

問二 五月 アジ…船釣りでは (エ、) を探し、その真上に

船を着けて狙うので効果が上がる。エサの (オ、)

は、頭は着けたまま尾羽の部分を指で取り、そこから

針を通し、お腹から針先を出す。 (カ、)

が柔らかいので、強引なやりとり・大合わせ

(キ、) 過ぎに注意をする。

問三 八月 ニジマス…一八八七年に北米から移入され各地に分布。

(ク、) 期になると体側に (ケ、) 色の帯が走る

のが名前の由来。塩焼きも美味しいが、だし入りインスタントみ

そ汁を使った (コ、) 焼きは感動もの。

問四 九月 イナダ…ブリは、モジャコ・ (サ、) ・イ

ナダ・ワラサと成長する。九月になると (シ、) c m位

に成長し、イナダの釣り期に入る。手釣り道具で釣る

(ス、) は魚信が直接手に伝わる。



問五 十一月 アマダイ…体色の異なる三種がいる。本種は

(セ、) アマダイで東日本に多い。他にシロアマダイ・

キアマダイがいる。釣期は9、10月で、砂泥地がすみ

かなので (タ、) を狙い、オモリを上下させて誘う。

問六 一月 ワカサギ…冬でも暖かい (チ、) 船での釣り

は、手軽に楽しめる。仕掛けを底まで落とし、底から10、20

c m感覚でタナを刻んで (ツ、) を待ち、食いタナを見

極める。エサを揺らす (テ、) で誘うと釣果が倍增。

問七 三月 イシモチ…釣りでは、シログチと (ト、) を

総称してイシモチと言う (両魚とも頭骨内に大きな耳石を

持つ)。仕掛けを真下におろし、オモリが着底したら

素早く (ナ、) を巻いて、糸ふけを取り、竿を

(ニ、) に保つ。数十秒ごとにオモリを静かに

三〇 c m程上げて、また着底させる。

問八 蛤 (ス、) …蛤は浜栗の意で、その形が

(ネ、) の (ハ、) に似ているのでこの名がついた。

* 解答



問一 シロギス、ア、中と長期にわたって楽しめる。エサは青イ、が圧倒的に多く、エサを(ウ)、習性なので、3、4 cmに切って付けるとよい。

問二 アジ、エ、を探し、その真上に船を着けて狙うので効果が上がる。エサの(オ)、は、頭は着けたまま尾羽の部分を指で取り、そこから針を通し、お腹から針先を出す。(カ)、が柔らかいので、強引なやりとり・大合わせ(キ)、過ぎに注意をする。

問三 ニジマス、一八八七年に北米から移入され各地に分布。(ク)、期になると体側に(ケ)、色の帯が走るのが名前の由来。塩焼きも美味しいが、だし入りインスタントみそ汁を使った(コ)、焼きは感動もの。

問四 イナダ、ブリは、モジャコ・(サ)、・イナダ・ワラサと成長する。九月になると(シ)、c m位に成長し、イナダの釣り期に入る。手釣り道具で釣る(ス)、は魚信が直接手に伝わる。

問五 十一月 アマダイ…体色の異なる三種がいる。本種は(セ)、アマダイで東日本に多い。他にシロアマダイ・キアマダイがいる。釣期は9、10月で、砂泥地がすみななので(タ)、を狙い、オモリを上下させて誘う。

問六 一月 ワカサギ…冬でも暖かい(チ)、船での釣りは、手軽に楽しめる。仕掛けを底まで落とし、底から10、20 c m感覚でタナを刻んで(ツ)、を待ち、食いタナを見極める。エサを揺らす(テ)、で誘うと釣果が倍增。

問七 三月 イシモチ…釣りでは、シログチと(ト)、を総称してイシモチと言う(両魚とも頭骨内に大きな耳石を持つ)。仕掛けを真下におろし、オモリが着底したら素早く(ナ)、を巻いて、糸ふけを取り、竿を(ニ)、に保つ。数十秒ごとにオモリを静かに三〇 c m程上げて、また着底させる。

問八 蛤(ス)、…蛤は浜栗の意で、その形が(ネ)、の(ハ)、に似ているのでこの名がついた。

第七回「イシモチ釣り会」のお知らせ 世話人会

イシモチ釣り会は、金沢漁港の「黒一丸(くろかずまる)」で行いたいと思います。車の方は金沢漁港(金沢区海の公園)に集合、電車の方は、金沢八景駅を出て荒川屋方面に向かう途中の「ローソン」の跡地の前に七時二〇分集合で、若船長が迎えに来てください。

記

一、期 日 三月十五日(金)

小雨決行

二、船 宿 金沢漁港「黒一丸」 京急金沢八景駅下車、車で十分

(送迎あり) 電話045・781・0691

駐車料 一日(三〇〇円)

三、集 合 七時三〇分 電車の方は、ローソン跡地前七時二〇分

四、参加費 10,000円(乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み)

五、釣り具 竿(負荷10〜20号)リール(小型) 錘(20〜30号)

六、携行品 クーラー・昼食・飲み物・雨具・帽子

七、釣り方 錘が着底したら、糸ふけを取り、竿を水平に保つ。

数十秒ごとに錘を三〇センチぐらい上げ、また下げて誘う。

アタリは明確だが、すぐに上げず追い食い待。

※申し込み 同封のハガキで申し込んでください。

(シロギスも同じ)

第一回「シロギス釣り会」のお知らせ 世話人会

令和六年度最初の釣り会はシロギスです。身は小さいけれど味は良く、刺身・天ぷら・一夜干し等どれもおいしいです。釣りやすい魚ですから、日並みの良い日は百匹(一束)釣りも可能です。昨年同様、横浜・新山下の「広島屋」で行います。

記

一、期 日 四月一二日(金)

小雨決行

二、船 宿 横浜・新山下「広島屋」みなり線元町中華街駅

元町駅下車(徒歩五分) 横浜市中区山下1・3・6

電話045・622・8615

三、集 合 七時三〇分 船宿

四、参加費 12,000円(乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み)

五、釣り具 竿(負荷10〜20号)リール(小型) 錘(10〜20号)

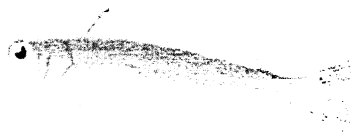
六、携行品 クーラー・昼食・飲み物・雨具・帽子

七、釣り方 最近はお付き一本針の仕掛けで、船下を釣るのが主流で

ある。海底から三〇センチ上までゆっくり探る。錘で海底をたたき、砂を巻き上げて誘う。道糸は、いつもたるまさないで張っておく。

スピニングリールの天秤使用の二本バリ仕掛けは、アンダーローで投げ、ゆっくり引き寄せながらアタリを待つ。アタリがあつたらかるく合わせながら負い食い待。

(エサはイソメを二センチ位に切つて使う)



「泊ワラサ釣り会」とワカサギ釣り会」の中止のお詫び

世話人会

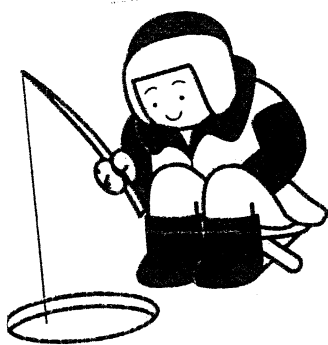
十二月十七・十八日に予定していました「ワラサ釣り会」、及び一月一六日に予定していました第六回「ワカサギ釣り会」中止についてのお詫びと、経緯の説明をさせていただきます。

いずれの会も、ワラサ釣り会は二名、ワカサギ釣り会は三名と参加者が少数のため、中止といたしました。



本会も、会員数減少と高齢化のため参加者がとみにすくなっており、人気のあるシロギス釣りやイナダ釣り、アジ釣り以外の釣りは参加希望者が多くありません。月一回の釣行を減らし、参加希望者の多い釣り会に絞るか、新しい魚種を開拓するか、何らかの工夫が必要となっている状況です。

世話人会でも検討しますが、皆様からのよきアイデアをいただきたいと思っています。



釣り部「研究・懇談会」中止のお知らせ

世話人会

二月十日に予定していました「研究・懇談会」中止の経緯をご説明させていただきます。

会場を予定していた「イケ・ビス」に豊島区民以外が予約できる最も早い十一月二十日に電話をかけたところ、「土・日曜日の午後は、みな埋まっています、夜間しかあいていません。」との返答でした。豊島区民であればその二週間前から予約できるので、コロナ禍が明けた今年は、豊島区民の新年会やら会合などで、すっかり埋まってしまったようです。以前は、久保庭先生が豊島区民だったため、こうした事態はなかったのですが、先生が退会されて町田が事務を引き繋いだので、こういうことになったと思われます。今後は、平日の午後の空いたところに入れるか、別の場所を探すか何らかの工夫が必要となっております。世話人会としては良い知恵を絞ってまいりたいと考えております。



千代田会釣り部通信

NO, 210

2023. 12, 01

編集 齊藤徳蔵

会長 町田静隆

令和5年度・秋の叙勲について	町田静隆	1
第48回「アジ釣り大会」報告	世話人会	2
特別会「1泊ワラサ釣り会」案内	世話人会	3
第6回「ワカサギ釣り会」案内	世話人会	3
釣り部「研究・懇談会」案内	世話人会	4
第5回「アマダイ釣り会」中止のお詫び	世話人会	4

令和5年度・秋の叙勲について

町田静隆

さる十一月十三日の月曜日、椿山荘において、文部科学省管轄の叙勲者への勲章伝達式に参加してまいりました。

というのも、都立松原高校の校長在職中に、「全国定時制・通信制高等学校長会」の理事長というものをやっておりました。この職は、文部科学省の叙勲対象となっているみたいで、七十を過ぎると全員がいただけるようなのです。

当日の朝十時に、飯田橋の「ホテルメトロポリタン エドモント」に十年ぶりに着ることになるモーニングを抱えて乗り込み、家内の貸衣装の色留袖の着付けとヘアメイクを、美容室の前で一時間半ほど待っていました。家内の着付けが済むと、タクシードで椿山荘へ向かいました。

一時五十分になると、伝達式が始まりました。文部科学大臣のお祝いの挨拶から始まり、叙勲者や褒章受章者代表のお礼の挨拶がありました。今回紫綬褒章を受章した歌人の俵万智さんが挨拶で一首読んだのが印象的でした。そのあと、一人一人に勲章を渡すのですが、叙勲者が七百人近くもいて、なかなか番が回ってきません。ここでも一時間以上待たされました。その後、バスに乗り込み皇居に拝謁に向かうのですが、バスも十一号車ということで、なかなかお呼びがかかりません。やっと皇居に着くと、他の省庁の拝謁が伸びているというので、またまたバスでの待機です。ようやくバスを降りて、豊明殿の椅子に座り、天皇陛下のご出場を待ち、お言葉を賜りました。その後は、乗車のバスごとに、記念撮影をし、バスで東京駅丸の内にて解散です。

そこでまたタクシードを拾い、エドモントホテルに戻りました。家内と二人で記念写真を撮影してもらい、貸衣装をフロントに返すと、ようやくすべてが終了です。さすがに疲れ果てて、飯田橋から高島平までタクシードで帰りました。

今考えると、一生に一度しかできない体験ができ、よかったかなと思っておりません。



第四八回 「アジ釣り大会」 報告 世話人会

第四八回アジ釣り大会である。一年に一回だけの大会が四八回を迎えるのである。凄く歴史を感じる。昭和五十年釣りクラブ発足当時は七十八名の会員だったそうである。代々の先輩会員に深く敬意を表したい。

十月十三日金沢八景駅に下りる、久し振りの釣りで気持ちが高ぶる。迎えの車で町田会長と金沢漁港に向かう。

殆どの方が見えていた。総勢六人である。この大会には必ず参加されていた何人かの先輩会員が身体の具合が悪い等の理由で見えていない。寂しさを感じる。

開会式で町田会長より、挨拶、藤本前会長より、釣り大会のルールの説明がある。

七時五十分出船、八時十分ごろ釣り場に着き、釣り開始である。私も勇んで海中に入れる。底に着いたと思った途端グーッと引きがある。二十cm超のアジが上がってきた。次も同じようにすぐ引きが来てアジが釣れた。『もしかすると、今日優勝するのでは』とバカなことが頭を過る。風と波が強く、糸の絡みを直すのに四・五分かかる。ペースが乱れてきた。隣の藤本会員は同じペースでどんどん釣り上げている。私にも強い引きがきた。大物か、ダブルかと思ひ、勇んで上げると大きなフグである。その後、フグにハリを取られてしまった。何回も何回も同じことが続いた。針が無いまま釣っているくらいである。他の人にはこのよ

うな様子は全くない。新しい針に取り替えながら続ける。時間だけが過ぎ、釣果がない。一時半に納竿した。

閉会式と表彰式を行った。成績発表（藤本）

田中五二 藤本三四
鳥海二四 町田一九

今年の入賞者（昨年の入賞者は規定により入らない）

一位田中 二位町田

三位齊藤

大物賞 市川 鳥海

優勝の田中会員の感想 「銀のハリにしたのが良かった

のかも知れない。」会員の一人が呟いた。

「田中名人の実力だよ」 全員が頷いていた。

釣座 右舷 町田 田中 鳥海
左舷 齊藤 藤本 市川

今回も大変楽しかったが、参加者が少なかった。先輩会員に元氣になっていただくとともに、会員を増やすことが急務である。伝統ある【千代田会釣り部】の隆盛を取り戻したい。

齊藤徳 記



十二月はワラサ(六十cm級)の回遊が期待できます。運悪く回遊していない場合は、いつでも大量のイサキ釣りに変更します。

昨年は、参加者少数のため、やむなく中止しましたが、改築なったブルー爪木での、おいしい夕食と気持ちいい温泉付きです。

記

一、日時 十二月十七・十八日(日・月)

二、集合 東京駅 九番線 踊り子二五号 一号車指定席の

なるべく後部座席

東京駅(十二時〇〇分)↓横浜(十二時二十四分)

↓小田原(十三時一分)↓下田(十四時四十八分)

三、参加費 二万四千円(宿泊費、乗船料、仕掛け、水代)

四、携行品 クーラーボックス、十八日の朝食、飲み物、他

五、釣り具 竿(負荷九〇号)、電動中型リール(電源は船に有)

サニ―籠百号(無料貸し出し有) 大型天秤、

ゴムクッション(三ミリで一メートル)

六、釣り方 指示されたタナより、一m下ろし、コマセをまいて

タナまで巻き上げる。そこでコマセをまいてアタリ

を待つ。アタリがあつたら、ゆっくり巻き上げ、網

ですくう。

※申し込み

同封のハガキで申し込んでください。



寒い一月は、温かいドーム場でワカサギ釣り会をやることになりました。クーラーボックスだけで参加できます。

記

一、日時 一月二三日(火)

二、場所 河口湖ドーム船・浅間丸〇九〇・八八七八・四四二二

山梨ハイヤー 〇五五五・二二・一八〇〇

(行き) 高尾(七・二五)―河口湖(九・一四) タク

シーで河口湖大橋下駐車場。ボートでドーム船へ

(帰り) 河口湖駅(二三・三〇)―大月(一四・三〇、

一四・四八)―高尾(一五・二六)

三、参加費 九千円(乗船料、釣り道具、エサ、タクシー代込み)

四、携行品 防寒服、クーラー(氷持参)、昼食、飲み物、タオル。

五、釣り方 ①エサを付け、投入し、錘を着底させる。五センチ位

持ち上げて止め、活性の状況を見る。②アタリがなけ

れば、竿先を十センチ位の幅で上下させる。(シェイ

キング) ③誘いを十秒位続けたらピタツと止め、食い

つくタイミングを与える。④アタリがない場合は、

タナを十―二十センチ上げてシェイキングを繰り返

す。

六、料理 そのまま水洗いして、拭き取り、天ぷら、酢の物。

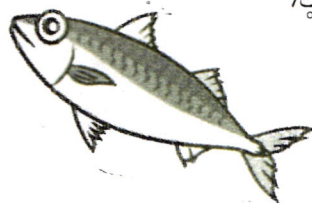
※申し込め 同封のハガキで申し込んでください。

会場は、池袋南口（東武デパート南口）の「4IKE・BIZ」（元の勤労福祉館）です。二年間コロナ禍で実施できず、昨年は参加者六名でしたが、なかなか盛り上がった会となりました。

内容は、

- ・ 今年の釣り状況の報告
- ・ 会員の皆様からの一言
- ・ 魚貝類のクイズ（一位から三位、商品あり）
- ・ 来年度の釣り会への要望等

の話し合いを行う予定です。日頃の釣り会では、話をする間もなく解散となってしまうので、会員の皆様のさまざまなお意見を伺いたいと思っております。



記

- 一、日時 令和六年二月十日（土） 十三時～十六時
- 二、会場 IKE・BIZ（池袋・南口より徒歩十分）
電話〇三―三九八〇―三三三一
- 三、参加費 二千五百円（弁当、飲み物、お菓子代等）

※当日、会場で徴収させていただきます。

※申し込みは同封のハガキで申し込んでください。

令和五年度 第五回「アマダイ釣り会」中止のお詫び

町田 静隆

十一月十日に予定をしておりました第五回「アマダイ釣り会」の中止にいたった経緯をご説明し、改めて参加を希望された会員の皆様へのお詫びを申し上げます。

会員の皆様からのはがきによる参加希望者は三名のみでした。人数が三人いかなかった場合、船宿にも迷惑をかけることから、その釣行は中止にするという世話人会の申し合わせもありますので、今回は釣行を中止させていただきました。申し訳ありませんでした。なお、七月の特別会「一泊イサキ釣り会も」参加者が少なく実施できず、今度の十二月の特別会「一泊ワラサ釣り会」も参加希望者が少ないという事態が生じる場合には、「一泊釣り会」の実施そのものを検討しなければならないと考えております。

編集委員より再度お願い

コロナ、悪天候のため釣り会の中止が多くて、原稿が集まりません。その都度町田会長、藤本前会長にお願いして何とか発行しております。このままでは廃刊の恐れもあります。以前もお願いしましたが、釣りに関すること、どんなことでも構いませんので原稿を、お送りください。（例 釣りが好きになったきっかけ・釣り自慢・その他・・・）一月末までをお願いします。ストックしておき順次掲載いたします。二百十号まで続いた【千代田会釣り部通信】を廃刊するわけにいきません。ご協力お願いします。



世話人会報告		世話人会	1
氷川国際マス釣り場・体験報告		藤本美男	2
第3回 新入会員歓迎会「ニジマス釣り会」中止のお詫び		世話人会	3
第4回「イナダ釣り会」報告		世話人会	3
第48会「アジ釣り大会」案内		世話人会	4
第5回「アマダイ釣り会」案内		世話人会	4

第一回世話人会報告

世話人会

令和五年度、第一回目の世話人会が、九月二日(土)に退職校長会事務局で行われた。世話人会とは、毎年二回、九月と二月の第一土曜日の十時から行われており、年間の釣り計画の予定の決定や、懇談会の企画、それから一般会計(会員からの年間費の運用)と、特別会計(毎回の釣り会の会費の運用)を世話人全員で確認することを目的として行われている。

今回の世話人会では、現時点までの一般会計と特別会計の執行状況の確認がまず行われた。出納簿と領収書の照らし合わせを行い、適正に執行されていることを確認した。

次に、営業中止となった「金の森山荘」の代りのニジマス釣り場をどうするかを検討した。それから、九月に予定しているイナダ釣り会について確認した。また、新しい世話人の募集について相談した。次回以降の釣り会で、世話人から声を掛けますので、ぜひご参加いただきたいと思います。

最後に、十月に予定されていた第四十八回「アジ釣り大会」の企画・運営について協議した。数年前からは、金沢漁港の黒一丸で実施しており、今年も引き続いて実施することにした。会報の「アジ釣り大会のお知らせ」をご覧の上、多くの会員の参加をお願いいたします。

町田(記)





氷川国際ます釣り場・体験報告

藤本

八月のマス釣り会が会場の閉鎖で中止になり、長男・長男の長女(十二歳)と三人で氷川国際ます釣り場に行きました。

七月三十一日、車で八王子・滝山街道・青梅街道・奥多摩駅前を通り九時四十分釣り場に到着(電車の場合は奥多摩駅から徒歩五分)。受付で、一日券三、六〇〇円、貸し竿三〇〇円を三人分支払い、そしてエサとしてイクラ三〇〇円・ブドウ虫六〇〇円を購入した。

下の川に降りると、家族ずれの釣り人が大勢いた。指導員が「先ほど放流した二六番と二七番の釣り場でどうぞ。周りは、昨日放流したところですがよければどうぞ!」と言われた。(放流は午前九時半と午後一時の二回)そこには、何人かの釣り人が入っている。イクラの容器を開けてみると、量が予想の半分ほどで少なかった。

私はイクラをエサで、長男と孫はブドウ虫をエサで、空いている所で、釣り開始。私がいちばん最初にニジマス釣り上げた。家族も一般の釣り人も時々釣れる状況であった。

私も長男も孫も、根掛かりして針が切れてしまい、持参したマス針で釣りを続けた。針が少なくなったので、受付に行つて、七本入りのマス針を、二〇〇円で購入した。

二六番・二七番に釣り人が多くなったので、真中の陸地の反対側の流れの三〇番・三一番に指導員が特別に放流をした。行つてみると魚の群れが川の中に見える。イクラが少ないので、ブドウ虫をエサで投入したが、全然釣れない。よく見ると、魚の群れのそばをブドウ虫のエサが来ても、逃げたり・知らんかをしている。イクラをエサにして

投入すると入れ食い状態。しかし、イクラを使い切ってしまった。

長男と孫に「イクラを買つて、釣りを続けようか」と聞くと「もう十一時四五分、止めて食事をしよう」と言つて、釣りは終了。

川から上がると、目の前で、ニジマスを焼いている。「ニジマスをサバクとありますがありますか」と聞いてみると「ここをまつすぐいったところにあります」と答えてくれた。よく見ると、「一匹二〇〇円で焼きます」と書いた張り紙がある。孫が食べたいと言うので、四匹お願いした。「二〇分位で焼けるので、お呼びしますから、八番のカードをお持ちください」と言われた。

一階上の食堂に行き、私と長男は煮込みそばを・孫は煮込みうどんを注文し、席で待つていた。「番号札八番の方、ニジマスが焼きましたので、一番の受付に来てください」と放送があり、下の焼き場に行き、串で刺した四本の塩焼きニジマスを受け取り、上の食堂に戻り、そばやうどんと一緒に、私と長男は一匹・孫は二匹食べた。美味しかった。

車で、長男と孫は横浜の実家へ・私は多摩市の家に帰った。

ニジマス二匹をサバキ、塩をふり、一時間以上置き、夕飯で塩焼きにして食べた。口うるさい妻も「川魚なのに臭みも無くおいしい」と喜んでた。残りのニジマスは、翌日、チャンチャン焼きで食した。



Access

●アクセス

●クルマ／中央自動車道・八王子ICから、国道411号線(滝山街道・青梅街道)で奥多摩町へ、「奥多摩駅」信号を右折、奥多摩駅前を通り「日原川」を渡って右折、「めおと橋」の下が現地。P/50台、無料。

●電車／バス／JR青梅線「奥多摩駅」から徒歩5分。

第五回 「イナダ釣り会」報告

令和五年度 「ニジマス釣り会」の中止についてのご説明とお詫び

世話人会

八月二日に予定をしていました「ニジマス釣り会」中止に至った経緯をご説明させていただきます。七月初旬に「金の森山荘」に予約の電話をしたところ、「大雨で壊れて、管理釣り場は部分的にしか使えない。」との返事が返ってきたので、おかしいと思い、「毎年そちらで釣りと昼食をお願いしていた千代田会ですが。」というところ、「今は食事とか宿泊のほうはやっていないので。」という返事でした。

おそらく、コロナ禍の間に営業が立ちいかなかったのか、ほぼ営業規模を縮小してしまったのではないかと思います。ということで、今年には代替案を検討する時間的余裕もなく、仕方なく中止とさせていただきますました。期待されていた会員の皆様には、大変申し訳なく思っております。

別紙にもありますように、来年度の「ニジマス釣り会」については、藤本先生からの代替案も出ています。来年の「研究・懇談会」の時にでも、新たな提案として、お示しできると思っております。

来年度は、皆様の振るってのご参加をお待ちしています。



(町田)



九月一五日（金）に、「イナダ釣り会」を腰越の秋田屋で実施した。今年の残暑はこの日も続いていて、九月半ばと思えないほど暑い日であった。

当初の予定通り、七時半過ぎに出船。江の島の裏側ほぼ四十メートルという近場であった。

午前十時くらいまでは、殆ど食いが立たず、コマセを撒いてはまたつめなおすという繰り返りであった。その後、回遊の群れが回つて来たのか、続けてヒットする。ただこの時期のイナダにしては良型で、何度も竿を持つていかれそうになるほど引きが良かった。最後はタモを使つて上げるのだが、テンビンが見えるところまで巻くのは大変であった。二本続けてあげると、腕が上らないほどで、暑さのせいもあって、休みやすみ釣つていたのだが、五匹上げたところでもういいやという気分になったほどであった。全体としては、イサキの数はそう伸びなかったものの、外道にカンパチやサバも混じるなど、良い釣り会であった。

釣果 イナダ 佐藤（息子）十二 藤本（カッタクリ）九

田中六

平均 五・七

釣座

右舷 田中 佐藤（息子）

佐藤 藤本

左舷 市川 町田 鳥海

町田（記）

第四八回 「アジ釣り大会」案内 世話人会

今年も千代田会恒例のアジ釣り大会を開催します。船宿は昨年と同じ金沢漁港の「黒一丸」です。車の方は金沢漁港に集合、電車の方は、金沢八景を出て、荒川屋方面に向かう途中の「ローソン」(工事中)の前に七時二十分集合で、若船長が迎えに来てくれます。

記

一、期 日 十月十三日(金) 小雨決行

二、船 宿 金沢漁港「黒一丸」 京急金沢八景下車、車で二〇分(送迎有) 電話〇四五・七八一・〇六九一

駐車料 一日三〇〇円?

三、集 合 七時三十分 電車の方はローソン前七時二十分

四、参加費 一万円(乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み)

五、携行品 クーラー、昼食、飲み物、雨具、帽子、タオル

六、釣り具 竿(「E」用、貸し竿有り) 中・小型リール、竿掛け

イワシミンチ用コマセ籠(三十号) 中型片天秤

ゴムクツション(三十センチ)

七、釣り方 イカタンや青イソメの餌を付け、コマセ籠にミンチ

を入れたら投入、錘が底に着いたら、糸ふけをとり

二メートル巻き上げてコマセをまく。さらに一メー

トル巻き上げてアタリを待つ。口が弱いのでゆっく

り丁寧に巻き上げ、取り込む。

八、表 彰 アジの数で一位、三位、大物賞三名 アジ以外の

魚種

第五回 「アマダイ釣り会」案内 世話人会

アマダイは高級魚として有名です。それだけに数多く釣ることは難しい魚種ですが、その釣り心をそる魚です。三枚におろして昆布で一晩締めた刺身のおいしさは格別です。

記

一、期 日 十一月十日(金)

二、船 宿 腰越「秋田屋」

電話 〇四六七・三一・一二八九

江ノ電「腰越」 徒歩七分で腰越漁港へ

七時三〇分

三、集 合 一二、〇〇〇円(乗船料、仕掛け代、エサ、氷代込み)

四、参加費

五、携行品 クーラー、昼食、飲み物、帽子、雨具、タオル

六、釣り具 竿(負荷五〇号) 中型リール(電動があれば望まし

い) 中型片テンビン、竿掛け、錘五十号

七、釣り方 アマダイ釣りは、コマセを使わず、片テンビン仕掛

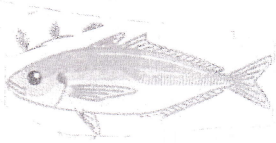
けで釣る。沖アミのエサをつけ投入。海底近くを狙

うので、錘が着底したら、ハリスの分だけ錘を上げ、

海底を叩くようにおろして誘う。

※

申し込み 同封のハガキに六十三円切手を貼り、申し込んでください。(アジ釣り大会も同じ)



退職校長会釣りクラブ

千代田会釣り部通信

2023・7・1



NO, 208

編集 齊藤徳蔵

会長 町田静隆

魚・貝類のクイズ(再掲載)		藤本美男	1
第2回 「アジ釣り会」 報告		世話人会	2
第3回 「LT五目釣り会」案内		世話人会	3
新入会員歓迎「ニジマス釣り会」のお知らせ		世話人会	3
第2回 「アジ釣り会」案内		世話人会	4
P,1 「魚・貝類のクイズ」解答・解説		世話人会	4

鮫	浅蜆	鰯	秋刀魚	鯖	鰺	蜆	鰹	鯖	鯛
(	(	(	(	(	(	(	(	(	(
早目	漁る貝	弱し	狭真魚	青葉	朝地	縮貝	堅魚	眼黒	大威
狭目	浅利	岩生	参魚	小齒	味	潮地味	活魚	間黒	平魚

上の魚や貝の名前の語源は、下のどちらが当てはまるか、()に記入して下さい。(解答・解説は4ページ下)



魚・貝類のクイズ

藤本

※このクイズは206号に掲載したものです。前回解答・解説をいただいたのですが紙面の都合で掲載できませんでした。そこで問題を1ページ、解答・解説を4ページ下に掲載しました。お楽しみください。



第二回 「アジ釣り会」報告

世話人会

前日の午後、釣り会の準備をしようと思っていたが、雷と豪雨で計画どおりに出来ず（糸が細い小型のリール・細くて柔らかい竿を用意）不安でいっぱいでした。

五月十二日朝、いつもより早く船宿に向かつて車で家を出たが、途中、何回も渋滞があり予定より遅く「黒一丸」に着いた。

七時二十五分、車で五名・送迎で一名、計六名が集合。乗船者名簿に記入・クーラーボックスに氷を入れ・救命胴衣を身に着け乗船。

七時五十分、出船。雲は少しあつたが晴天で、風も波も弱く、絶好の釣り日和。船は八景沖に向かつて進む。釣り船は、いつもより少なく遠くに二隻ほど見えた。

八時十分、船長の指示「目的地に着きました。釣り場を探すので、釣りが出来るように、準備をして下さい」。私は手巻きリールでしたが、電動リールの方も何人かおりました。

八時二十分、船長の合図「底から二m」で第一投。アタリが無く、船は移動。風や波が少し強くなった。

八時四十五分、結構強い引きがあり、小型のアジをゲット。アジに混じってカサゴやシログスもゲット。



船長の指示「底の変化や流れの速さで、底からの距離が変わるので、何回も底に下して、底から二mをしっかりと取って下さい」。

底から一m・二m・三mで中型や小型のアジが掛った。

十時五十五分、船は移動。風も波も弱くなった。近くで米元丸（以前よく利用した）が釣行していた。

十時五十五分、アジやカサゴをゲット。船長の指示「エサのイソメが長いのでアジに逃げられている。エサは二cmくらいに切ってつけて下さい」。コマセを撒いて、リールを巻き上げ、しばらくまった後、底まで下すときにアジが掛りやすかった。細くて柔らかい竿だから海面までに何回も強い引きがあり快感でよかった。

十一時三十分、船長の指示「熱くなったので、水分を十分取って下さい」。右舷でも左舷でもアジに混じってアマダイをゲットしている。根がかりしたのか、リールが巻けなくなり、強く引き上げると糸が細いのか、天秤から下が切れてしまった。船長にお願いして、天秤とコマセ籠を借りた（借り料二〇〇円取られた）。

十一時五十分、船は移動。ボートで釣りをしているのが二隻見えた。午前中はアジに逃げられなかったが、午後はアジの活性化が上がったのか海中でも海上でも逃げられた。

十三時〇〇分、沖あがり。

家に着くと、すぐに近所（新鮮で美味しいと喜んでくれる）に配った。アジとシログスは刺身で・カサゴは酒・みりん・つゆの素で煮て食した。残ったアジは、妻の要求「食べたい時にいつでも食べられるように、三枚にさばいて・酢に漬けて下さい」で保存した。

好天・好漁、そして皆様とお会い出来てストレスが解消できました。

釣果（アジ） 田中二八 藤本二六 岩森一六 平均一六
外道（船中） カサゴ二二 イシモチ五 シログス五

・右舷 町田 市川 藤本
・左舷 田中 鳥海 岩森



（藤本記）



第三回 「LT五目釣り会」 案内

世話人会

LT(ライトタックル)で、この時期釣れる魚をいろいろ狙います。アジの大型や、運が良ければアマダイの良型が釣れることがあります。本命が決まっていない釣りだけに、何が釣れるかの期待は大きいです。

記

一、期日 七月十一日(火)

小雨決行

二、船宿

腰越 「秋田屋」 電話〇四六七・三一・一二八九

・ 江ノ電「腰越」 徒歩七分で腰越漁港へ

・ 小田急「片瀬江の島」七時二十分 送迎あり

三、集合 七時三十分

四、参加費 一万二千元(乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み)

五、携行品 クーラー・昼食・飲み物・雨具・帽子・タオル

六、釣り具 竿(負荷四十号)・中型リール・中型片テンビン・竿掛け・サニール・おもり四十号

七、釣り方 左に示した対象魚の水深でコマセをまき、アタリを待つ。表層付近・・・ワカシ・ソーダガツオ・カツオ

底から十五メートルまで・・・イサキ・イシダイ・アジ・サバ・底から三メートルまで・・・マダイ・クロダイ・アマダイ

※ 申し込み 同封のハガキで申し込んでください。(イナダ・ニジマスも)

新入会員歓迎「ニジマス釣り会」のお知らせ 世話人会

八月は、海は暑いので、涼しい溪流釣りを計画しました。貸し竿を利用するので、クーラーボックスだけを持参すればOKです。ニジマスを釣った後、さばいて、大きなお風呂に入浴(タオル持参し、昼食を兼ねて懇談します)。

記

一、期日 八月一日(火) 小雨決行

二、釣り場

大月(金の森山荘) 山梨県大月町真木六一八八

電話〇五五四・二三・一〇二一

中央線 高尾駅 七時四十七分→大月駅 八時二十八分

三、集合 大月駅改札出口付近 八時四〇分

バスで「金の森山荘」へ向かう。

四、参加費 七五〇〇円(マス釣り・貸し竿・エサ・仕掛け・氷・入浴・食事・ビール代込み)新入会員は五〇〇〇円

五、釣り具 貸し竿(負荷一〇〜二〇号)

六、内容 ・ニジマス釣り 九時十分〜十一時三十分

・マスさばき、入浴 十一時四十分〜十二時十分

・食事・歓談 十二時三十分〜十三時三十分

十三時四十分 送迎バスで大月駅に向かう。

指定されたダムで釣る。(一〇匹ぐらい放流してくれ

る)ハリにエサ(イクラ三粒・またはブドウ虫一匹)をつけ、底をたたくようにして上流から流す。よどみやたまりで釣れることも多い。釣れなくなったら、上流、下流の人のいない場所で釣る。

七、釣り方

第四回「イナダ釣り会」のお知らせ

世話人会

ブリで四〇センチ位に成長したものをイナダといいますが、引き強く、食べておいしい魚です。回遊に出合うとたくさん釣れるので楽しみです。

記

一、期 日 九月一日(金) 小雨決行

二、船 宿 腰越「秋田屋」 電話 〇四六七・三一・一二八九

江ノ電 「腰越」 徒歩七分で腰越漁港へ

小田急 「片瀬江の島」 七時二十分 送迎あり

三、集 合 七時三十分

四、参加費 一万二千元(乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み)

五、釣 具 竿(負荷五十号)または手釣り用具・リール(小型電動)・中型天秤・ステカン五十号・ゴムクツション(二ミリ×五十センチ)

六、携行品 クーラー・昼食・飲み物・雨具・帽子)

七、釣り方 ①竿釣り・船長の支持するタナまで下ろし、竿い

っぱいしゃくり上げ、アタリを待つ。上げた分までリールを巻き上げ、またしゃくり上げ、アタリを待つ。上の層まで繰り返し、アタリがなければ、巻き上げてコマセを詰め替える。

②手釣り(八の釣方)・右手で幹糸を手操り上げ素早く左手に持ち替え、幹糸を掴んで手操り上げる。



魚・貝類のクイズ(解答・解説)

藤本

鯛は(平魚)・「延喜式」に「タイは平たい魚で(平魚)」とある。

鮪は(眼黒)・「物類称呼」に「マグロはその眼の黒き也」とある。

鰹は(堅魚)・「松屋筆記」に「カツオは堅魚の義にて、型魚干の

堅きに起れる名也といへり」と記している。

鰻は(縮貝)・「シジミは「縮貝」の義で、表面がちじんでみえる。

鰯は(味)・「東雅」には「アジは味也。其の味の美をいふなり」

鯖は(小齒)・「日本釈名」に「この魚他魚に変わりて齒小也」

秋刀魚は(狭真魚)・狭とは細長いことで、体が細長いことによる。

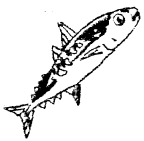
鰯は(弱し)・「東雅」に「イワシは弱也。水を離れぬれば、たや

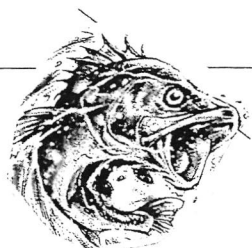
すく死するを言ふ也」と記している。

浅蜆は(漁る貝)・「新六帖」に「伊勢の海女の汐干にあさり求め・・・」

鮫は(狭目)・「和訓栞」に「サメは(狭眼)の義なり。体よりは眼

のいたって細きものなり」と記している。





釣りクラブ 会長挨拶	町田 静隆	1
第6回 「イシモチ釣り会」の報告	世話人会	2
2023年度 釣りクラブ 年間予定表	世話人会	3
令和4年度 一般会計報告	世話人会	3
第2回 「アジ釣り会」案内	世話人会	4
特別会 「一泊イサキ釣り会案内」	世話人会	4



釣りクラブ会長挨拶

町田 静隆

会長の町田です。本年も昨年に引き続き、よろしくお願い申し上げます。なお、世話人の先生方は、(敬称略) 斎藤 徳蔵、島海 重年、藤本 美男です。

さて、本年度は、三年ぶりにコロナの影響なく、月例の釣り会を実施できそうです。第一回「シロギス釣り会」は八名の参加希望者が出ています。久しぶりの釣行に皆様、期待が高まっていられようようです。令和五年度の釣りクラブでは、引き続き参加人数の減少に対する対策が必要であると思われます。人数が少なくても仕立て船が出せる船宿の開発として、十人そろわないと難しい、荒川屋や吉野屋を外し、金沢漁港の黒一丸や新山下の広島屋という船宿を開発しました。両者とも五人そろえば仕立ての船が出せる船宿です。さらに今年は、新山下の波辺釣船店をアジ釣り会の時に使いたいと思っています。(数年前のシロギス釣りで使ったことがあります) 今後も会員の皆様のご意見を充分頂いた上で、改善できるところは、来年の新年懇談会までに皆様にお聞きできる叩き台をお示ししたいと思っています。また、釣り物に関しても七月、九月の暑い時期の良い釣り物を検討する必要があるのではと考えております

予定のない一月には、河口湖で温かいドーム船でのワカサギ釣りを追加しました。

今年度も、良い釣り会となりますように、精一杯務めさせていただきますので、会員の皆様のご指導、ご鞭撻をよろしく願っています。

さて、私事ですが、4月から勝浦市に移住しようと思っております。

住所は、〒299-1522 勝浦市聖名(とな) 25-13です。電話は携帯の090-12915-18954です。

第六回 「イシモチ釣り会」 報告

世話人会

令和五年三月十六日(木)金沢漁港の黒一丸に仕立てをお願いしてイシモチ釣りを開催した。参加者は町田・藤本・岩森・市川・田中・鳥海の六人。例年よりも温かい天候が続く、釣行当日も朝のうちは肌寒い時間帯もあったが、晴天、微風、気温も二十度近くあり絶好の釣り日和に恵まれた。各自、氷をアイスボックスに詰め込んで八時に出港。まもなく船長の「ここから走りますよ」の声がけとともにスピードが増す。波しぶきがあまrikaからないほど穏やかな海だ。期待が膨らむ。三十分ほど走り続けて本牧海釣り施設近く、横浜沖に到着、胴つき二本針、重りは三十号、イソメをつけての竿出し。潮の流れは緩やかで底を取りやすい。重りを底に着けてふけをとりアタリを待つ。すぐに左隣の岩森会員が釣り上げた。間もなくして右隣の町田会員も。どちらも型のいいイシモチで銀鱗がまぶしい。真ん中の私だけ取り残されたまま時間が経過していく。数分後によりやくイシモチらしい強いアタリがあり、やがてダブルでのアタリもあるなど時間の経つのも忘れて没頭。その後、数回釣り場を変えた。左舷ではベイブリッジを眺めながらの釣行で景色の良さも味わうことができた。まだまだ釣り続けたい気持ちは強かったが、午後一時三十分には納竿。港へ戻る。黒一丸のスタッフは四〇尾以上釣り上げたようだ。釣りのテクニク等を最初に聞いておけばよかったと反省しきり。餌のイソメはチョン掛けがいいのか房掛けがいいのか、アタリがあったらアワセを入れた方がいいのかそのまま放っておけばいいのか、誘いのテクニクなど。少しは自分でも試してはみたもののはっきりした優劣は感じられなかった。ただ上の針と下の針では予想した通り下にアタリがある

ケースが多く、餌のかけ方を上と下の針で変えても良かったのではないかな等、家路についてから考えたこと。

今回の釣行で非常に珍しいということか今まで経験したことがないのは外道がゼロということ。いつもは底もののカサゴなどいくつか混じって当たり前でしたが今回は初めてのケースでした。黒一丸の船長さんが漁場を知り尽くしていたのかもしれない。帰り際に黒一丸の女将さんからいただいた旬のメカブはいいお土産になりました。黒一丸の皆さん、お世話になりました。有難うございました。

帰宅後に早速調理に取りかかる。六尾程をさばいて汁に漬ける。この二月に椿祭りで大島に行った時に白身魚のべつ甲漬けが美味しかったのでつけ汁を買ってきた。そのつけ汁に漬けて食べたのが最高にうまい。数匹を焼き物に、残りは開きにして干物と冷凍保存に。メカブは旬のこの時期、なかなか美味しい。湯がいてから包丁で叩いて、とろとろにして食べる。卵を落として混ぜてもなかなかの美味。コロナ禍も少し遠のいた感があり、心身ともに穏やかな釣行ができたことに感謝！

※釣果 イシモチ : 藤本二十一 岩森十八 平均十四

外道はゼロ



(右舷) 藤本・市川・田中
(左舷) 町田・鳥海・岩森



二〇二三年度 釣りクラブ年間予定表

- 四月十四日(金) 第一回「シロギス釣り会」(新山下・広島屋)
 五月一日(月) 会報二〇七号発行
 五月十二日(金) 第二回「アジ釣り会」(金沢漁港・黒一丸)
 六月十一・十二日(日・月) 「一泊イサキ釣り会」(下田・爪木丸)
 七月一日(土) 会報二〇八号発行
 七月十一日(火) 「LT五目釣り会」(腰越・秋田屋)
 八月一日(火) 新人生歓迎会「ニジマス釣り会」(金森山荘)
 九月二日(土) 第一回世話人会
 九月十五日(金) 第四回「イナダ釣り会」(腰越・秋田屋)
 十月一日(日) 会報二〇九号発行
 十月十三日(金) 第四十八回「アジ釣り大会」(金沢漁港・黒一丸)
 十一月十日(金) 第五回「アマダイ釣り会」(腰越漁港・秋田屋)
 十二月一日(金) 会報二一〇号発行
 十二月十七・十八日(日・月) 「一泊ワラサ釣り会」(下田・爪木丸)
 一月十三日(土) 第二回世話人会
 一月二十三日(火) 「ワカサギ釣り会」(河口湖・浅間丸)
 二月三日(土) 釣り部 研究・懇談会
 三月一日(金) 会報二一一号発行
 三月十五日(金) 第七回「イシモチ釣り会」(金沢漁港・黒一丸)

※前号の 魚・魚貝類のクイズ(回答・解説)を藤本先生にいただきました。紙面の都合で掲載できません。次号に掲載します。
 お許しください。(編集委員)

令和四年度 一般会計報告 世話人会

○収入の部 九三、〇三六円

- ・前年度繰越金 三五、五一六円
- ・年会費(二、五〇〇×一四) 三二、五〇〇円
- ・本部からの活動補助金 一〇、五二〇円
- ・賛助金 二、五〇〇円
- ・研究懇談会参加費(二、〇〇〇×六) 一二、〇〇〇円

○支出の部 五一、〇九三円

- ・活動費(代表渉外、会報編集・発送) 三五、〇〇〇円
- ・研究懇談会(会場費・賞品代・飲食費) 一六、〇九三円

○差引残高 四一、九四三円

九三、〇三六 — 五一、〇九三

令和五年三月三十一日

右の通り報告いたします 世話人会代表 町田 静隆 印

会計担当 藤本 美男 印

*お願い 本年度も入会される方は、年会費二、五〇〇円を、釣り会または、振込で納入して下さい。ゆうちょ銀行 記号11320
 番号 10257851 名義人 マチダ シズタカ

第二回 「アジ釣り会」案内

世話人会

令和五年度 第二回「アジ釣り会」は、新山下の渡辺釣店で実施したいと問い合わせしましたが、時間が合わず、金沢漁港の黒一丸に、戻して実施します。

記

一、期 日 五月十二日(金)

小雨決行

二、船 宿 金沢漁港「黒一丸」 京急金沢八景駅下車 車で十分

(送迎あり) 電話045・781・0691

駐車料

一日三〇〇円

三、集 合 七時三〇分 電車の方は、荒川屋に向かう途中の元「ロ

ーション」(今改装中で取り壊しています) 七時二〇分

四、参加費 10,000円(乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み)

五、携行品 クーラー、昼食、飲み物、雨具、帽子、タオル、

六、釣り具 竿(E用、貸し竿有り)、小型リール、竿掛け、イワ

シミンチ用コマセ籠(三十号) 中型片天秤、ゴムクッ

ション(三十センチ)

七、釣り方 イカタンや青イソメの餌を付け、コマセかごにミンチ

を入れたら投入。錘が底に着いたら、糸ふけをとり、

二m巻き上げてコマセをまく。さらに一m巻き上げて

アタリを待つ。口が弱いのでゆっくり丁寧に巻き上げ、

取り込む。

※ 申し込み

同封のハガキで申し込んでください。

時別会一泊イサキ釣り会」案内

世話人会

前日には、船宿の温泉に入り、おいしい夕食会が楽しみです。
春のイサキ釣りは、抱卵期で食いが活発であり、過去には八十数匹を釣り上げたこともあり、豊漁が期待できます。

記

一、日 時 六月十一・十二日(日・月)

二、集 合 東京駅 九番 踊り子一五号一号車後ろの指定席

東京駅(十二時00分) ↓ 横浜(十二時二十四分)

↓ 小田原(十三時一分) ↓ 下田(十四時四十八分)

下田駅から送迎あり。

三、参加費 二二〇〇円(宿泊費、乗船料、仕掛け、氷代)

四、携行品 クーラーボックス、一二日の朝食、飲み物、他

五、釣り具 竿(負荷八〇号)、電動中型リール(電源は船に有)

サニーかご八十号(無料貸し出し有) 中型天秤

ゴムクッション(三ミリで一メートル)

六、釣り方 指示されたタナまで下ろし、コマセをまいてアタリ

を待つ。アタリがなければ、一m巻き上げてコマセ

をまく。同じ動作を繰り返し、上のタナまで行う。

アタリがあつたら負い食いを待ち、ゆっくり巻き上

げ、丁寧に取り込む。

※ 同封のハガキで申し込んでください。

※ 町田会長にキス釣り中止のお詫びの原稿をいただきますし

たが 紙面の都合で掲載できません。(編集委員)



千代田会釣り部通信

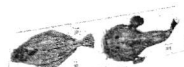
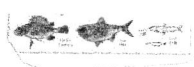
NO, 206

2023・3・1

編集 齊藤徳蔵

会長 町田静隆

釣り部	「研究・懇談会」の報告	世話人会	1
第6回	「ワカサギ釣り会」の報告	世話人会	2
クイズ	「魚・魚類に関するクイズ」	世話人会	3
1泊	「ワラサ釣り会」中止のお詫び	世話人会	3
第7回	「イシモチ釣り会」のお知らせ	世話人会	4
令和5年度第1回	「シロギス釣り会」のお知らせ	世話人会	4



釣り部 「研究懇談会」

報告

世話人会

二月四日 釣り部 「研究懇談会」を実施した。

三年ぶりに来た「IKE・BIN」は大変美しい。参加者は町田会長・藤本・鳥海・蔵本・市川・齊藤徳の会員、六名である。

鳥海会員の司会で、藤本会員の始めの言葉、町田会長のあいさつ、そして乾杯と進んだ。横浜崎陽軒のシウマイ弁当と一緒に、ビールでお腹と喉を潤した。大変おいしい。雑談から、自然に本題へと進んだ。二ページに町田会長が記しているが、始めて実施できたワカサギ釣りが話題になった。参加者の藤本、町田氏の話を他の会員が羨ましがって聞いていた。次の話題が釣り会の事である。

船宿はどうするか、釣りの参加者が減ってきた現在では、少人数でも仕立ての実施が基本である。町田会長が交渉で苦労している点である。釣りの参加者を増やすこと、部員を増員以外に考えられないが、大変難しい。海釣り公園等の丘釣りや、ボートでのハゼ釣り等もだが結論には至らなかった。「二月二日クラブ委員長会を実施するが第二回会員研修会(11/17)でクラブ発表会を提案したい。部員を増やすためにも発表応募して欲しい」の声もでた。

釣る魚種はアジ、イナダ、は参加者が割と多い。シロギスつりも無理がきいて実現できる。他は今後も検討していくことになった。

本年も藤本会員の出題の「魚・貝類のクイズを」実施した。

一位、町田氏 二位(同点数) 蔵本氏 鳥海氏だった。大変楽しかったので、別なクイズを作ってもらった(三ページ)。挑戦してください。

やや少人数だったが充実した楽しい会だった。



一月一七日（火）に、「ワカサギ釣り会」を行った。昨年度も一昨年度も実施予定ではあったのだが、コロナ禍でいずれも取り止めとなっていて、今年度初めて実施する会であった。七時二六分出発の河口湖直行の電車に乗り込んだ。高尾から大月まで約一時間というのんびりした電車旅となった。幸い天候は快晴で、富士山が間近に見える。素晴らしい釣り日和の天気となっていた。

河口湖に着くと、予約していたタクシーに乗り込み、河口湖大橋の駐車場に乗り付けた。岸には船長が待っていて、モーターボートに乗って約二、三分でドーム船に着いた。この釣りのいいところは、暖房の効いたドーム型の船から釣れるということだ。

船には三人の釣り座が用意されていて、藤本会員、岩森会員、それと私が並んで座った。係の人から釣り方を教わる。針はすでにエサ（サシ、ハエの卵を赤く着色したもの）が付いていて、そのまま糸を出して、着底したら糸ふけを取ってしばらく待つ。すでにブルブルという当りがあり、ちよつと合わせて追い食いを待つ。巻きあげると、ワカサギをクシ状のところにかけ、糸を引っ張るとそのままワカサギが下に落ちるといふ仕組みであった。十時前くらいから釣り初めて、すぐ二十四くらいかった。

ただ、ハリとエサが小さいので、エサを付けるのが大変だった。眼鏡を外して近づけないと、ハリがどこにあるか分からない。

また仕掛けも細くて、油断するとすぐに手前祭りして、ぐしゃぐしゃになってしまう。また、回遊性なので群れがいなくなると、

しばらく当たりが止まる。その繰り返しで、三人とも、三、四十匹は釣ったであろうか。

一二時半に下船しようとする、船長が定置網で捕ったというワカサギをクーラーにどつと放り込んでくれ、その結果、何匹釣ったかは、わからなくなってしまったのだが。



帰りは河口湖で、特急に乗り込んだ。富士山のビューポイントではゆつくりと走ってくれて、また富士山を堪能した。

家に帰ると、そのまま片栗粉を付けてから揚げにし、そのまま食べた。

ワカサギのいいところは、

内臓やうろこを取る必要が

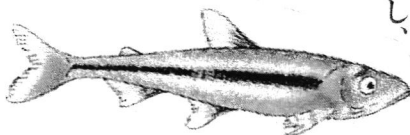
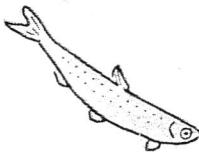
なく、全然手間がかからない

ところだ。

半分はそのまま酒の当てにし、

残り半分は

佃煮にして翌日には全部食べてしまった。



町田記



魚・貝類のクイズ

藤本

上の魚や貝の名前の語源は、下のどちらが当てはまるか、() に記入して下さい。(解答・解説は次号で)

鮫	()	早目	狭目
浅蜆	()	漁る貝	浅利
鰯	()	弱し	岩生
秋刀魚	()	狭真魚	参魚
鯖	()	青葉	小齒
鰺	()	朝地	味
蜆	()	縮貝	潮地味
鰹	()	堅魚	活魚
鮪	()	眼黒	間黒
鯛	()	大威	平魚

特別会 「一泊ワラサ釣り会」 中止のお詫び

世話人会

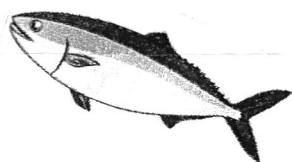
十二月に予定しておりました「一泊ワラサ釣り会」が中止となりましたことへのお詫びとご説明をいたします。

コロナ前までは、早朝の日帰り釣り会よりは肉体的に楽だという理由で、特に高齢の会員の皆様には好評だった「一泊釣り会」ですが、高齢を理由に退会された理由の増加や、ご逝去された会員もおられ、一泊釣り会はとみに参加希望者が減っておりまして、昨年十一月の参加希望者もわずか三人だけでした。

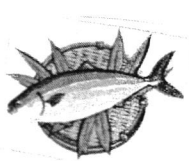
したがって、三人以下は釣り会を行わないという内部規定に引っ掛かり、やむなく中止しました。

このままでは、一泊釣り会そのものが毎回中止となりかねないと危惧おります。

何かこれと違う釣り会の考える時期に来ているかもしれません。また広く会員のみなさまにご意見をうかがって対応しようと考えておりますので、忌憚のないご意見をお願いいたします。



(町田記)



第一回「シロギス釣り会」のお知らせ

世話人会

令和五年度最初の釣り会はシロギスです。身は小さいけれど味は良く、刺身・焼き魚・天ぷら・一夜干し等どれもおいしいのです。釣りやすい魚ですから、日並みの良い日は百匹（一束）釣りも可です。昨年同様、横浜・新山下の「広島屋」で行います。

記

一、期 日 四月十四日（金）

二、船 宿 横浜、新山下「広島屋」 みなとみらい線 元町・中華街駅（徒歩五分） 横浜市中区山下一―三―六

電話 〇四五・六二二・八六一五

三、集 合 七時三〇分 船宿

四、参加費 一〇〇〇〇円（乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み）

五、釣り具 竿（負荷一〇〇―二〇号）リール（小型）錘（十―二十）

六、携行品 クーラー・昼食・飲み物・雨具・帽子

七、釣り方 最近は胴付き一本張りの仕掛けで、船下を釣るのが主流である。海底から三十センチ位上までゆっくり探る。

錘で海底をたたき、砂を巻き上げて誘う。道糸はいつもたるまさないで張っておく。

スピニングリールの天秤使用の二本バリ仕掛けは、アンダースローで投げ、ゆっくり引き寄せながらアタリを待つ。当たりがあつたら軽く合わせ、追い食いをまつ。（エサはイソメを二cmぐらいに切つて使う）

※申し込み 同封のハガキで申し込んでください。

第六回「イシモチ釣り会」のお知らせ

世話人会

イシモチ釣り会は、金沢漁港の「黒一丸（くろかずまる）」で行います。車の方は金沢漁港（金沢区海の公園）に集合、電車の方は、金沢八景駅を出て、荒川屋方面に向かう途中の「ローソン」の前に七時二十分集合で、若船長が迎えに来てくれます。

記

一、期 日 三月一六日（木）

小雨決行

二、船 宿 金沢漁港（黒一丸） 京急金沢八景駅下車車で一〇分

（送迎あり） 電話〇四五・七八一・三五九一

駐車増 一日（三〇〇円）

三、集 合 七時三十分 電車の方は ローソン前七時二十分

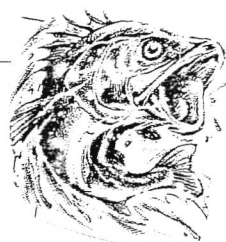
四、参加費 一〇〇〇〇円（乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み）

五、釣 具 竿（負荷十―二十号）・リール（小型）・錘（二十―三〇号）

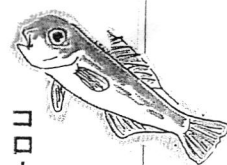
六、携行品 クーラー・昼食・飲み物・雨具・帽子

七、釣り方 錘が着底したら、糸ふけを取り、竿を水平に保つ。数十秒ごとに竿を三〇センチ位上げ誘う。当たりは明確だが、すぐに上げず、追い食いを待つ。

※申し込みは同封のハガキで申し込んでください。



第5回	「アマダイ釣り会」の報告		世話人会	1
第47回	「アジ釣り大会」の報告		世話人会	2
1泊	「ワラサ釣り会」の案内		世話人会	3
第6回	「ワカサギ釣り会」の案内		世話人会	3
釣り部	「研究・懇談会」の案内		世話人会	4
編集委員より	お願い 釣り情報		世話人会	4



第五回「アマダイ釣り会」報告 世話人会

コロナの感染者は減らないが、天気予報は好天と述べていた。

十一月十一日朝、腰越港の駐車場で参加者が、釣りの話などで盛り上がっている。

七時二十分、市川、岩森、田中、鳥海、町田、藤本の六名が集合。
七時三十五分、出船。晴天で温かく、風も弱く、波も小さかった。
富士山は、うすい霧がかかっていたが雲ひとつなくきれいに見えた。
遠くに七隻の釣り船が見える。

七時五十分、江の島沖に到着。近くに江の島が見えた。船長の合図で第一投。反応は無く、八時五分、初めてのアタリでシロギスの大きいのをゲット。八時十五分、アマダイの小をゲット。

八時三十分、船は移動を開始。アタリが無く、三回移動を繰り返す。江の島がどんどん遠くなっていく。その後、カレイイトヨリダイ・アマダイをゲット。十二時の異動後、アマダイやイトヨリダイが沢山釣れた。少し早い、十二時三十分沖上がり。貧漁であったが、全員アマダイをゲット出来て良かった。

魚は、さしみ・塩焼き・煮物で食べた。妻が「おいしい」と言った。(秋田屋は、腰越港の中の小屋で受付や案内をし・駐車料も返金してくれたが中止。また釣りの後、お茶やお菓子で接待も中止)

釣果 アマダイ 鳥海・藤本(5) 岩森・田中(4)

外道(船中) イトヨリダイ(9) カレイ(3)

サバ(3) マゴチ(2) カレイ(2)

右舷 市川・町田・鳥海 左舷 藤本・田中・岩森 (藤本記)



第四十七回 「アジ釣り大会」 報告

世話人会

十月十四日、金沢漁港内の「黒一丸」に仕立てをお願いしてアジ釣り大会を開催した。コロナ禍で不安もないわけではないが、先ずは開催できたことが何よりも嬉しいこと。今年になってからは九月のイナダ釣りに次いで二日目になるが、このアジ釣り大会は歴史のある特別な大会で、より気合の入る釣行の一つである。今回は七人の会員が参加した。

当日の朝、天気予報に違わず小雨だったが、七時半過ぎに全員が揃ったところには雨も上がり、開会式。町田会長の挨拶に続き藤本会員から競技上の諸注意が伝えられ開会式が終了。水をクーラーボックスに入れて八時頃に出港。新しい船で前後にトイレがある。使いやすそうだ。

出港後まもなくして最初の釣り場に到着した。例年通り、針先にはイソメをチョン掛けしてコマセを撒く。一投目から着底と同時に引きが入る。コツコツと当たるので今日は釣果が期待できそうだ。ただ予想外のことが多々あるもので厄介なことが、何と底にはフグが多いらしく、とにかく着底と同時に引きがあつても糸を切られることが重なり仕掛けを六回も付け替えなければならぬ羽目になったこと、それに併せて船のローリングが激しくて船酔いに悩まされるようになった。この二重苦を抱えながらの釣行になった訳だが、同じ右舷に席をとる齋藤会員と藤本会員を見ても淡々と釣りに集中している様子で、船べりに這いつくばるようにして耐えている私とは大違い。何とも恥ずかしい有様、記録係を仰せつかりながら自分のこともできない状態で申し訳ない気持ちになりました。

昨年のアジ釣り大会では比較的小ぶりのアジが多かったように記憶しています。今回は大型のアジがよく釣れている。最初の釣り場から移動して次の釣り場へ。やっとフグから解放されて糸が切られることが無くなった。早速、町田会長が三十センチオーバーの大アジを釣り上げた。田中会員は順調に釣果を伸ばしている。隣の齋藤会員は見事な真鯛を釣り上げた、何と一本針での釣果だったとか。

今回の釣りを通して棚のわずかな違いがアジの釣果に影響したように感じます。棚どりは本当に大事で、私の感覚ではおそらく一、三メートルから二、六メートルあたりでアジがよく釣れたような気がするものの、ただ底の起伏が激しいことや潮の流れが速かったりで底どりがなかなか難しかった。

今回の釣り場は二カ所、一時過ぎには納竿、一時二十分ころに帰港した。二人が一組になって釣果を確認し記録用紙に記入する。続いて閉会式。藤本会員から本日の結果発表。町田会長が一位から三位の会員に賞品の盾を授与。今年優勝したのは藤本会員で感想を話していただきました。最後に齋藤会員から講評をいただき閉会式が終了。

皆様、お疲れ様でした。

帰宅後に早速アジをさばく作業開始。大型のアジは調理しやすい。刺身、タタキ、塩焼きも美味しいが自家製の干物が最高。

十%ほどの塩水に一〜二時間ほど漬け込んでから一日ほど陰干しにする。美味しさが凝縮した鉛色の絶品に。骨まで食べられる。苦しかった船酔いも忘れて今度は美酒に酔う。そして来年はコロナ禍が終息し、また開催できることを願う。

お世話になった黒一丸の皆様、有難うございました。

・成績発表表(藤本)

①藤本十八

②鳥海十六

③市川八

大物賞

(フグ) 田中・(真鯛) 齋藤・(アジ) 町田

※釣果

アジ平均十五尾

外道：真鯛、フグ、カサゴ、イシモチ、

(なお、昨年の入賞者は今年には釣果にかかわらず入賞の対象外になります)

(右舷) 鳥海・齋藤・町田・市川

(左舷) 田中・藤本・岩森

(鳥海 記)



特別会 「一泊ワラサ釣り会」案内

世話人会

第六「ワカサギ釣り会」案内

世話人会

十二月はワラサ(六十cm級)の回遊魚が期待できます。運悪く回遊していない場合は、いつでも大量のイサキ釣りに変更します。

昨年は強風のため、やむなく中止しましたが、改築なったブルー爪木での、おいしい夕食と気持ちいい温泉付きです。

記

一、日時 十二月十一・十二(日・月)

二、集合 東京駅 九番線 踊り子一一五号 一号車指定席

東京駅(十二時〇〇分)↓横浜(一二時二四分)↓

小田原(十三時一分)↓下田(十四時四十八分)

三、参加費 二二〇〇円(宿泊費。乗船料。仕掛け・氷代)

四、携行品 クーラーボックス。一四日の朝食。飲み物。他

五、釣り具 竿(負荷九〇号)。電動中型リール(電源は船に有)

サニ―籠百号(無料貸し出し有)。大型天秤。

ゴムクッション(三ミリで一メートル)

六、釣り方 指示されたタナより一m下ろし、コマセをまいてタ

ナまで巻き上げる。そこでコマセをまいてアタリを

待つ。アタリがあつたら、ゆっくり巻き上げ、網で

すくう。

※ワラサ釣りに参加を申し込まれる方は十二月六日

までに町田先生に直接電話で申し込んでください。

※ワカサギ釣りを申し込まれる方はハガキで申し込んでください。

寒い一月は、温かいドーム船でワカサギ釣りをやることになりました。クーラーボックスだけで参加できます。

記

一、日時 一月一七日(火)

二、場所 河口湖ドーム船・浅間丸〇九〇―八八七八―四四二二

山梨ハイヤー 〇五五五―二二一八〇〇

東京駅(六・三三三)↓御茶ノ水(六・三三八)↓新宿(六・

四八)↓高尾(七・三三三)乗り換え(七・四七七)↓大

月(八・三三五)↓河口湖(九・二二六)タクシーで六番

ゲート。ボートでドーム船へ

(帰り)川口駅(一三・三三〇)↓高尾(一五・二二〇)

乗り換え(二五・三三〇)↓東京(一六・三三〇)

三、参加費 九〇〇〇円(乗船料・釣り道具・エサ・タクシー代込)

四、携行品 防寒服装 クーラー(氷持参)昼食 飲み物 タオル

五、釣り方 ①餌を付け、投入し、錘を着底させる。五センチくら

い持ち上げて止め、活性の状況を見る。②アタリがな

ければ、竿先を十センチ位の幅で上下させる。(シエ

イキング)。誘いを十秒位続いたらピタツと止め、食

いつくタイミングを与える。③アタリがない場合はタ

ナを一〇〜二〇センチ上げてシエイキングを繰り返

す。

六、料理

そのまま水洗いして、拭き取り、天ぷら、酢の物。

会場は、池袋南口(東武デパート南口)の「IKE・BIZ」(元の勤労福祉会館)です。二年間コロナ禍で実施できませんでしたので、皆様も積もる話もあると思います。

内容は

- ・ 今年の釣り会の状況報告
- ・ 会員の皆様の一言
- ・ 魚介類のクイズ(一位から三位、商品あり)
- ・ 来年の釣り会への要望等

の話し合いを行う予定です。日頃の釣り会では、話をする間もなく解散となってしまうので、会員の皆様のさまざまなご意見を伺いたいと思っております。

記

一、日時 令和五年二月四日(土) 十三時～十六時

二、会場 IKE・BIZ(池袋駅より徒歩十分)

電話〇三三九八〇―三三三二

三、参加費 二千元(飲み物、お菓子代等)

当日会場で徴収させていただきます。

※ 申し込みは同封のハガキで申し込んでください。

同封のハガキは、前号(会報20号)と一緒に送ったものです。今号も原稿が足りず、どなたか送ってくださるかなとお待ちしていましたが一通も来ませんでした。大変困っています。よろしくお願いします。今後原稿が足りない時は、今まで掲載した、原稿の中から選んで再度掲載することもあります。ご承知ください。サンケイスポーツ新聞の釣り欄から気になっている船宿の釣り情報を紹介します。

今浦安・行徳地方のアジ釣りがすごい!

吉野屋(浦安・電話〇四七―三五―二五四四) タチウオ・イシモチ釣りで行った船宿です。アジ15〃48cm・80〃210匹

伊藤遊船(行徳・電話〇四七―三五八―五七七四) ボートでハゼ釣りをする船宿で有名です。アジ15〃34cm・48〃211匹

スミイカ、カサゴ等もやっていますがアジの釣果は驚くほどです。十一月二十六日のサンケイスポーツの記事です。特に伊藤遊船はここ十日間アジの釣果は同じように続いています。

木更津沖、川崎沖が漁場だそうです。私も挑戦したいなと思う時があります。200匹とはいかなくても夢の一束超えに挑戦してみたい気がします。

(齊藤 徳記)



随想	K先生のこと	町田静隆	1
第4回	「イナダ釣り会」の報告	世話人会	2
お詫び	各種釣会中止等のお詫び	世話人会	3
第47回	「アジ釣り大会」の案内	世話人会	4
第5回	「アマダイ釣り会」の案内	世話人会	4



K先生のこと

町田 静隆

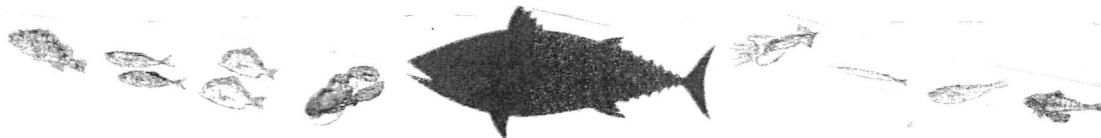
私の一番の趣味は、海釣りである。人生で釣りに出会えたことは本当に幸せなこと、思っている。その出会いについて、お話ししたい。

以前から漠然と釣りをしたいという願望はあったが、きつかけをつかめずにいた私は、平成元年四月、江戸川区の都立高校に異動した時、国語科の先輩のK先生に出会ったのである。K先生は釣りのエキスパート、それも中途半端な釣り好きのレベルではなかった。幼稚園児のお子さんが、「お父さんの仕事を絵にかきましょう。」という課題に、教師の絵と漁師の絵を両方描いたというくらいに釣りにのめり込んでいる人であった。全くの初心者であった私は、一から教えるをうかがうことができる師匠に出会えたのだ。道具の選定から魚のさばき方まですべて教わって、K先生に同行させていただき、最低月一回ペースで釣りに出かけるようになった。体育科と社会科の動向がいたので毎回四、五人での釣行であった。ホームベースは銚子の「透容丸」という船宿で、ハナダイやイナダ・カンパチなどの青物が本命であった。それ以外でも、神奈川の早川や、三浦半島、房総の布良や竹岡、にも出かけた。魚種も真鯛、カツオなどを中心に狙った。

平成十一年、管理職要因となり異動した後、管理職時代の合計十五年間は、釣竿をしまつたままになったが、平成二十五年に定年退職すると同時に、東京都退職校長会の釣り部会に入会し、十五年ぶりの釣りを再開した。

釣りクラブでは、月一回のペースで釣り会を行っており、金沢八景や浦安などの近場から、船を仕立てて、アジやシロギス、イシモチなどを釣りに出かけている。年一回は伊豆の下田まで一泊の釣り会も行っている。一昨年四月からはクラブの委員長を仰せつかり、日々釣りの計画を練っているところである。

釣りが好きな方、三十年前の私と同じ様にやりたいと思いがちなその機会がない方、校長でなくても、同行の士は準会員として歓迎しますので、どうかご連絡ください。



第四回「イナダ釣り会」報告

世話人会

本年度になって第一回シロギス釣り会から、特別会 新入会員歓迎会「ニジマス釣り会」までコロナ禍のため、また天候不順のため、五回すべて中止になった。九月一二日(土)第四回「イナダ釣り会」が予定されている。町田会長からのお知らせでは一〇人の参加予定である。久しぶりの大人数で嬉しい。しかし二日ぐらい前から沖縄の方で大型台風が猛威を奮っているニュースが流れている。「今回もだめかな」と半分諦めてしまう。中止の知らせが来ないのを願いながら準備をした。

三時過ぎに起き、外を見た。雨は降っていない。風も殆どない。「よし!これならできる!」と思ひ支度をする。四時半に家を出て

電車に乗る。五時頃明るくなってきた。二日前の中秋の名月がまだ丸く美しい。鎌倉で江ノ電に乗り換える。七里ガ浜で観る海原は波もない。腰越で下車し漁港に着く。まだ七時前だが六名の方が来ている。お二人の方が急用で来られず、八人の参加者である。新聞を見ると相模湾では今シーズンはまだイナダは釣れていない。しかし今朝のスポーツ新聞釣り欄では、腰越でイナダが一十一匹が釣れているとでている。期待を持ってそんな気がする。

八時十五分出船、富士山、江の島が並んで美しく見える。九時頃釣り場に着く。イナダを狙っているようだ。興奮してきた。

第一投、間もなく、軽いアタリが来た。上げているうち、重さを感じなくなりばらしたかなと思つたが二十cmぐらいのイトヨリダイが上がってきた。その後ほぼ全員と言つていいぐらいいろいろな魚を

釣り上げている。サバが多く釣れている。あちこちでバタバタと跳ねる音がする。その分お祭りも多い。私も町田会長に何回も迷惑をかけた。アジも多くつれている。殆どが三十cm前後の好物で、黄金アジと言われる立派なものである。私は初めて目にし、耳にしたイトヨリダイも多く釣れた。本命のイナダも多くの方が釣っているように思えたが、集計表を見るとどなたも釣っていないのは意外だった。十一時半頃まで同じ場所で釣つたが、必ず誰かが、何かを釣っているぐらい好調であった。

その後二か所釣り場を変えたが初めての場所ほどの釣果はなかった。一小时前に終了、帰港後、反省会を行った。本命のイナダこそ釣れなかったが、多くの釣果と、久し振りに釣りができたことに全員満足気であった。

十月十四日(金)第四十七回アジ釣り大会には多くの人を誘って再会しようと約束して解散した。

※追記 自慢しようと釣った魚を台所に並べたが、今話題の『アニキサス』のため歓迎されなかった。しかしシメサバ、みそ煮、塩焼き等、サバを料理したが驚くほど美味であった。

釣果 田中 イトヨリダイ2 カイワリ1 アジ2 サバ6 他

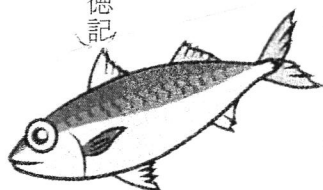
大山 アジ5 イトヨリダイ3 サバ7

町田 アジ5 サバ6

釣座 右舷 大山 齊藤 町田 田中

左舷 藤本 佐藤 佐藤 岩森

(齊藤 徳記)



令和四年度 「一泊イサキ釣り会」・第三回「LT五目釣り会」・
新入 会員歓迎「ニジマス釣り会」中止のお詫び

町田 静隆



六月十二・十三日に予定しておりました一泊イサキ釣り会ですが今回三名の参加希望者しかなく、三名以下での釣行は中止するという内規に従って中止やむなきに至りました。さらに七月十二日(火)に予定していました「LT五目釣り会」及び、八月六日(金)に予定しておりました、新入会員歓迎「ニジマス釣り会」を中止した経緯について、説明とお詫びをいたします。

今年の「LT五目釣り会」は一昨年同様、腰越の秋田屋から出漁の予定でした。また「ニジマス釣り会」は昨年同様、山梨県大月の「金の森荘」での実施予定でした。

しかし、新型コロナウイルスのデルタ株による第七波といわれる感染拡大に伴い、長時間の移動を伴う移動や会食を伴う釣り会の実施はどうかという会員の方々の声も大きく、こちらも中止のやむなきに至りました。

幸い、九月に実施する「イナダ釣り会」では、日並みが良ければ爆釣というイナダ釣りは毎年会員の皆様の期待も大きく、今回も久しぶりの十人の参加希望をいただいております。都合により二名のキャンセルは出ましたものの、詳しくは齊藤会員の報告に譲りますが、八名参加での釣り会を実施できました。今年度になって、第一回「シロギス釣り会」以来、理由は様々でありましたが、すべての釣り会は実施できず、フラストレーションが溜まりに溜まってお

りましたのを、ようやく解消できた気分です。

十月には、第四十七回となる「アジ釣り大会」があります。また、十一月には、「アマダイ釣り会」がありますので、ぜひご参加いただきたいと思います。(それぞれの会のご案内がありますので、ご覧ください。)

会員の多くの方々も、四回目のワクチン接種が進んでいると拝察いたします。安全な釣り会となりますので、奮ってご参加いただきますようお願い申し上げます。

訃報

千葉 康算様におかれましては七月十日

ご逝去されました。

謹んで哀悼の意を表します。

千葉先生には長年 千代田会釣りクラブ世話人として
ご活躍いただきました。特に会計担当としてご尽力
されました。

ありがとうございました。

第四十七回

「アジ釣り大会」案内

世話人会

今年も千代田会釣り会恒例のアジ釣り大会を開催します。船宿は昨年と同じ「黒一丸(くろかずまる)」です。車の方は金沢漁港(金沢区海の公園)に集合、電車の方は、金沢八景を出て、荒川屋方面に向かう途中の「ローソン」の前に七時二十分集合で、若船長が車で迎えに来てくれます。

記

- 一、期 日 十月十四日(金) 小雨決行
二、船 宿 金沢漁港「黒一丸」 京急金沢八景下車、車で一〇分

(送迎あり) 電話 045・781・0691

駐車料 一日三〇〇円?

- 三、集 合 七時三十分 電車の方は、ローソン前七時二十分
四、参加費 一万二千元(乗船料・仕掛け代・エサ・氷込み)
五、携行品 クーラー、昼食、飲み物。雨具、帽子、タオル。
六、釣り具 竿(LT用。貸し竿有り) 中・小型リール。竿掛け
イワシミンチ用コマセ籠(三十号) 中型方片天秤。ゴムクッション(三十cm)。



七、釣り方

イカタンや青イソメの餌を付け、コマセ籠にミンチを入れたら投入。錘が底に着いたら、糸ふけをとり、二m巻き上げてコマセを巻く。さらに一m巻き上げてアタリを待つ。口が弱いのでゆっくり巻き上げ取り込む。

八、表彰

アジの数で一位〜三位。大物賞三名 アジ以外の魚種

※ 申し込み 同封のはがきに六十三円切手を貼り申し込む。

第五回

「アマダイ釣り会」案内

世話人会

アマダイは高級魚として有名です。それだけに数多く釣ることは難しい魚種ですが、それだけ釣り心をそそる魚です。三枚におろして昆布で一晚締めたさしみのおいしさは格別です。

記

- 一、期 日 十一月十一日(金) 小雨決行
二、船 宿 腰越「秋田屋」 電話 0467・31・1289

① 江ノ電「腰越」 徒歩七分で腰越漁港へ

② 小田急「片瀬江の島」七時二十分 送迎あり

- 三、集 合 七時三十分

- 四、参加費 一万二千元(乗船料・仕掛け代・エサ・氷代込み)
五、携行品 クーラー。昼食。飲み物。雨具。帽子。タオル。
六、釣り具 竿(負荷五十号)。中型リール(電動があれば望ましい) 中型片テンビン。竿掛け。サニール籠。錘五十号

七、釣り方

アマダイ釣りは、コマセを使わず、片天秤仕掛けで釣る。オキアミのエサをつけて投入。海底近くを狙うので錘が底に着いたら誘いを兼ねて、ハリスの長さだけ錘を上げ、海底をたたくように下ろす。絶えず小突くことがひつようです。

※ 同封のハガキで申し込んでください。



退職校長会釣りクラブ

千代田会釣り部通信

No, 203

2022・7・1

編集 齊藤徳蔵

発行 町田静隆

新入会員歓迎 「ニジマス釣り会」のお知らせ

・・・ 世話人会 1

解説 「イサキ釣り」

・・・ 世話人会 2

第2回「アジ釣り会」特別会1泊イサキ釣り会に中止のお詫び

・・・ 世話人会 3

第3回 「LT五目釣り会」のお知らせ

・・・ 世話人会 4

第4回 「イナダ釣り会」のお知らせ

・・・ 世話人会 4



新入会員歓迎「ニジマス釣り会」のお知らせ

世話人会

九月は海は暑いので、涼しい溪流釣りを計画しました。貸し竿を利用するので、クーラーボックスだけ持参すればOKです。ニジマス釣った後、そばいて、大きなお風呂に入浴（タオル持参）し、昼食を兼ねて歓談します。

記

一、期 日 八月二日（火）

小雨決行

二、釣り場 大月（金の森山荘）

山梨県大月町真木六一八八

電話 〇五五四・二三・一〇二一

三、集合

中央線 高尾駅 七時四七分→大月駅 八時二八分

大月駅改札口付近 八時四〇分 バスで「金の森山荘」へ向かう。

四、参加費

八五〇〇円（マス釣り・貸し竿・仕掛け・エサ・氷・入浴・食事・ビール代込み）※新入会員五〇〇〇円

五、内 容

・ニジマス釣り 九時十分→十一時三十分

・マスのさばき・入浴 十一時四十分→十二時三十分

・食事・懇談 十二時三十分→十三時三十分

六 釣り方

指定されたダムで釣る。（十四くらい放流してく

れる。）ハリにエサ（イクラ三粒、またはブドウ一

匹）をつけ、底をたたくように上流から流す。よどみ

やたまりで釣れることも多い。釣れなくなったら、上

流、下流の人のいない場所で釣る。申し込みはがきで





解説 「イサキ釣り」

世話人会

イサキ釣り会が中止になり、残念です。そこで、イサキについて解説いたします。

イサキで十五cm以下の幼魚は、イノシシに似た三本の縦じま模様があり、ウリンボウと呼ばれます。成長すると、しま模様は消え茶褐色になります。

イサキ釣りの魅力は、何と言つても強い引き味。いきなり竿先が持ち込まれるようなアタリが出るので、初心者も驚くことが多い。

釣り期は、春から秋（六・七月はエサ追ひも活発で食べても美味しい）。「イサキはタナを釣れ！」と言われるように、正確なタナで釣ると釣果が上がる（リールのカウンターは狂いが多いので、道糸のメーカーで水深を計る）。

・釣り方

コマセ籠にコマセを八分目ほど詰める。エサはオキアミの尾を取ってハリに腹掛けにする。

サミングしながら仕掛けを下し、指示ダナの二〜三m下で止める。下を向けた竿先を強く上下させてコマセを出し、ゆっくり竿を上げて仕掛けを撒いたコマセの中に入れる。アタリが無ければ竿先を下げて一m分リールを巻き、そこでコマセを撒く。これを繰り返して指示ダナの二〜三m上まで探る。



・アタリと合わせ、取り込み

アタリは竿先に強く出る、静かに竿を持ち上げるとハリ掛かりするので、あとは、ゆっくり一定の速度でリールを巻く（イサキは口が弱いので、強引なやりとりは禁物）。水面近くまでイサキを上げてきたら、竿掛けに竿を置き、手で糸を手繰り寄せてコマセ籠をコマセの入った器に入れる。この時にイサキに強く引かれたら、無理せずに、少し指の間で糸をすべらせながらやり取りをして、ゆっくりと取り込む。足もとにバケツを

用意し、針に掛った

三匹の魚の一匹は

バケツの先に置き、

二匹目はバケツの

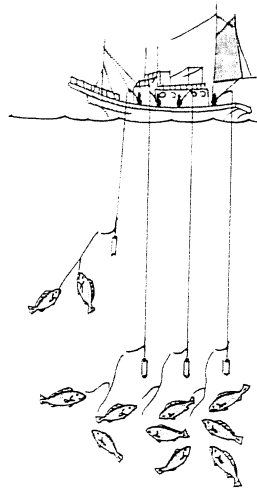
中に入れ、三匹目は

バケツの手前に置き、糸が絡まないようにする。

針からはずした魚は海水の入ったバケツに入れ、生きているうちに氷と少量の海水（海水を入れると〇度以下になる）の入ったクーラーボックスに移す。

・塩焼きで食べると美味しい

下処理は、きれいにウロコをそぎ落して洗い流し、エラと内臓を取り出す。大きめのサイズなら、三枚おろしにして、小骨は毛抜きを使って抜き、刺身にする。頭を付けたまま塩を振って塩焼きで食べると美味しい。焼くときには、裏表に包丁で切り目を入れておくと、火が通りやすくなる。イサキの皮は堅いので、取ってから食べるのがよい。



令和四年度 第三回「アジ釣り会」 特別会「一泊イサキ釣り会」
中止のお詫び

町田 静隆

まず、五月十三日に予定しておりました第三回「アジ釣り会」の中止に至った経緯をご説明し、改めて参加を希望された会員の皆様へのお詫びを申し上げます。

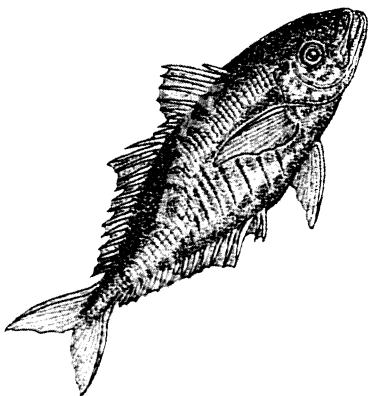
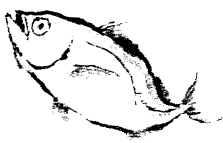
今回の「アジ釣り会」は、一昨年の荒川屋の半日乗り合いでの実施と違い、金沢漁港の黒一丸での仕立て釣りで実施の予定でした。しかし、週間天気予報を見ると、十三日は、一日中雨の予報となっており、会員の何人から天気の悪さを理由に、不参加の連絡をいただいたこともあり、世話人とも相談して、中止を決定しました。本釣りクラブは、超高年齢集団ですので、一日中雨に打たれての釣りとなれば、体調不良をきたす可能性も高く、雨では釣果も期待できません。何より、釣りは晴れた海の上での爽快さを味わうためのものです。したがって、やむなく中止の決断をいたしました。コロナがほぼ収まって、二年ぶりの釣り会を期待されていた会員の皆様には誠に申し訳ないと思い、お詫び申し上げます。

そこで、六月の一泊イサキ釣り会に期待しておりましたが、一泊での釣り会は、最近とみに人気がなく、参加希望者は四名のみでした。ところが、釣行の一週間ぐらい前になって、そのうちのお一人から参加できなくなったというご連絡をいただきました。人数が四人以下になった場合、船宿にもご迷惑をかけることから、その釣り

は、中止にするという世話人会の申し合わせもありますので、爪木丸に連絡を入れ、中止の申し出をしました。なお腰越の秋田屋でも、仕立てで出るなら最低六人は集まって欲しいと申し入れがあります。四人以下での仕立てが可能なのは、金沢漁港の「黒一丸」だけです。ただこれも燃料代の高騰でいつ変わるかわかりません。以上がイサキ釣りの中止となりました経緯です。こちらでも参加を希望されていた会員の皆様に裏切ることになり、申し訳ありませんでした。

なお、本会報にもご案内がありますが、七月のＬＴ五目釣り会は、すでに秋田屋に予約の連絡を入れてあります。会員の皆様の振るつての参加をお願いいたします。また八月のニジマス釣り会では、涼しい溪流での釣り会やおいしい昼食や温泉も味わえます。会員以外の方にも声をかけていただいて、ぜひ、盛会にしたいと思っております。

また、九月のイナダ釣りでは、日並みが良ければ、二時間ぐらいでクーラー満杯の入れ食いの釣りが楽しめます。（ちなみに一昨年在がそうでした。）こちらもぜひ大勢の参加をお願いいたします。



第三回

「LT五目釣り会」案内

世話人会

LT(ライトタックル)で、この時期釣れる魚をいろいろ狙います。アジの大型や、運が良ければアマダイの良型が釣れることもあります。本命が決まっていらない釣りだけに、何が釣れるか期待は大きいです。

記

一、期 日 七月十二日(火)

小雨決行

二、船 宿 腰越 「秋田屋」

電話 〇四六七・三一・一二八九

江ノ電「腰越」

徒歩七分で腰越漁港へ

小田急「片瀬江ノ島」

七時二〇分

送迎あり

三、集 合 七時三〇分

四、参加費 一二、〇〇〇円(乗船料・仕掛け代・エサ・氷込み)

五、携行品 クーラー。昼食。飲み物。雨具。帽子。タオル。

六、釣り具 竿(負荷四十号)。中型リール。中型片テンビン。

竿掛け。サニー籠。おもり四十号。

七、釣り方

左に示した対象魚の水深でコマセをまき、アタリを待つ。表層付近・・・ワカシ、ソーダガツオ、カツオ

底から十五メートルまで・・・イサキ、イシダイ、アジ、

サバ

底から三メートルまで・・・マダイ、クロダイ、アマダイ

※ 申し込む 同封のハガキで申し込んでください。

第四回「イナダ釣り会」のお知らせ

世話人会

ブリで四十センチくらいに成長したものをイナダといいます。引きが強く、食べておいしい魚です。回遊に出会うと、たくさん釣れるので楽しみます。

記

一、期 日 九月十二日(月)

二、船 宿 腰越「秋田屋」 電話 〇四六七・三一・一二八九

江ノ電「腰越」 徒歩七分で腰越漁港へ

小田急「片瀬江ノ島」 七時二十分

送迎あり

三、集 合 七時三十分

四、参加費 一二、〇〇〇円(乗船料・仕掛け代・エサ・氷込み)

五、釣 具 竿(負荷五〇号) または手釣り用具。リール(小型

電動)。中型天秤。ステカン五〇号。ゴ

ムクツシヨン(二ミリ×五〇センチ)

六、携行品 クーラー。昼食。飲み物。雨具。帽子。

七、釣り方 ① 竿釣り： 船長の支持するタナまで下ろし、竿い

っぱいしゃくりあげ、アタリを待つ。上げた分ま

でリールを巻き上げ、またしゃくりあげ、アタリ

を待つ。上の層まで繰り返し、アタリがなければ、

巻き上げてコマセを詰め替える。

② 手釣り(八の字釣り法)： 右手で幹系を手探り上

げ素早く左手に持ち替え、幹系を掴んで手探り上

げる。 ※同封のハガキで申し込んで下さい。